

令和 7 年度
枚方市教育振興基本計画に係る
主要事業の進捗状況
(令和 7 年 9 月 30 日時点)

令和 7 年 11 月
枚方市教育委員会

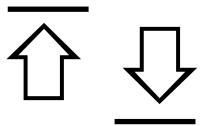
基本方策	主要事業名	担当部署名	ページ	備考
基本方策1	①小中一貫教育推進事業	教職員課 教育指導課	3	
	②学校園活性化事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	4	
	③枚方市少人数学級充実事業	教職員課 教育指導課 児童生徒課 支援教育課	5	
	④学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	教育研修課	6	
	⑤多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	支援教育課	7	
	⑥英語教育推進事業	教職員課 教育指導課	8	
	⑦読書活動推進事業	教育指導課	9	
	⑧進路指導等事務	支援教育課	10	
	⑨学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	教育指導課	11	
	⑩学校支援社会人等指導者活用事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	12	基本方策2から組替え
基本方策2	①人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	支援教育課	14	
	②多文化共生教育研究事業【再掲】	支援教育課	14	
	③帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	支援教育課	15	
	④小中一貫教育推進事業【再掲】	教職員課 教育指導課	15	
	⑤学校水泳授業民間活用事業	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	16	
	⑥部活動指導協力者派遣事業	教育指導課	17	
	⑦小学校給食充実事業	おいしい給食課	18	名称変更
	⑧学校給食における地元農産物利用促進事業	おいしい給食課	19	
	⑨食物アレルギー対応推進事業	おいしい給食課	20	
	⑩学校健康管理事業	学校支援課	21	
	⑪健康診断事業	学校支援課	22	
	⑫中学校給食充実事業	おいしい給食課	23	
	⑬文化財活用事業	文化財課	24	
	⑭野外活動センター利用促進事業	スポーツ振興課	25	
	⑮中学校給食における全員給食実施事業	おいしい給食課	26	
	⑯中学校部活動地域連携事業	教育指導課	27	

基本方策3	①枚方市教職員育成事業	教育研修課	29	
	②授業の達人養成・教科研究事業	教育研修課	30	
	③学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	30	
基本方策4	①支援教育推進事業	支援教育課	32	
	②通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	支援教育課	33	
	③枚方市教職員育成事業【再掲】	教育研修課	33	
	④就学前支援教育推進事業	公立保育幼稚園課	34	
基本方策5	①幼児教育充実事業	公立保育幼稚園課	36	
	②学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	36	
	③学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	37	
	④幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	公立保育幼稚園課	37	
基本方策6	①コミュニティ・スクール推進事業	教育指導課	39	
	②教育委員会広報事務	教育政策課 教育研修課	40	
基本方策7	①小学校安全監視事業	新しい学校推進課	42	
	②通学路安全対策事業	新しい学校推進課	43	
	③小中学校安全対策事業	支援教育課	44	
	④生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実事業)	教職員課 児童生徒課	45	
	⑤いじめ問題対策事業	児童生徒課	46	
	⑥スクールアドバイザー派遣事業	児童生徒課	47	
	⑦教育相談事業	児童生徒課	48	
	⑧「心の教室相談員」配置事業	児童生徒課	49	
	⑨福祉・教育ソーシャルワーク事業	まるっとこどもセンター	50	
	⑩不登校児童・生徒支援事業	児童生徒課	51	
基本方策8	①学校整備・保全事業	施設計画課 施設整備課 施設管理課	53	
	②学校空調設備整備・維持管理事業	施設計画課 施設整備課	54	
	③学校規模等適正化事業	新しい学校推進課 施設整備課	55	
	④学校ICT機器等整備業務【再掲】	教育研修課	55	
	⑤校務の情報化推進事業	教育研修課	56	

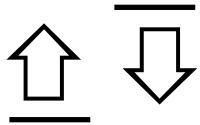
基本方策8	⑥小学校給食充実事業【再掲】	おいしい給食課	56	
基本方策9	①社会教育活動推進事業	教育政策課	58	
	②生涯学習事業	文化生涯学習課	59	
	③図書館資料購入事務	中央図書館	60	
	④図書館等巡回事業	中央図書館	61	名称変更
	⑤中央図書館管理運営事業	中央図書館	62	名称変更
	⑥図書館分館管理運営事業	中央図書館	63	名称変更
	⑦図書館オンラインシステム運営事業	中央図書館	64	名称変更
	⑧障害者利用促進事業	中央図書館	65	
	⑨電子図書館運営事業	中央図書館	66	
	⑩学校図書館支援事業	中央図書館	67	
	⑪読書活動推進事業【再掲】	教育指導課	67	
基本方策10	①文化財活用事業【再掲】	文化財課	68	
	②野外活動センター利用促進事業【再掲】	スポーツ振興課	68	
	③文化芸術創造拠点形成事業	文化生涯学習課	69	
	④文化財保護管理事業	文化財課	70	
	⑤市指定文化財補助事業	文化財課	71	
	⑥特別史跡百済寺跡再整備事業	文化財課	72	
	⑦市史編さん年報発行事務	文化財課	73	
	⑧各種スポーツ大会等開催事業	スポーツ振興課	74	
	⑨スポーツ推進事業	スポーツ振興課	75	
	⑩総合型放課後事業	放課後子ども課	76	
	⑪枚方子どもいきいき広場補助事業	放課後子ども課	77	

※表中の凡例

● 「指標」の「（めざすべき方向）」の表記について



…実績値が、目標値へ到達することをめざしています。



…実績値が、目標値を上（下）回ることをめざしています。

● 「令和7年度の取り組み実績」の表記について

- ・文頭に◆：事業の取り組み実績
- ・文頭に◇：事業の課題事項

基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。変化の激しい社会に柔軟に適応していくためにも、物事を多角的に捉え、多様な他者と協働しながら社会課題や生活課題に「新たな解」を生み出せる素養の育成が重要となります。

学校教育においては、一人ひとりの教育的ニーズを大切にし、教職員及び児童・生徒が、1人1台端末を校務及び学習に日常的に活用した個別最適で協働的な学びを進め、「主体的・対話的で深い学び*」の実現に向けた授業改善を繰り返しながら、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。^{③④⑨}

また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続を踏まえ、シームレスな学びの推進に向け、教職員の指導力や学校力の向上を図ります。^{①②}

さらに、仮想空間やデジタル技術、ネットワークの活用が一般化された超スマート社会(Society 5.0) *に対応するため、プログラミング教育*の推進や情報活用能力のさらなる育成の視点も踏まえながら、ICT活用による新しい学校教育の確立に向けた「枚方版ICT教育モデル」や国のGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びの一層の推進に取り組みます。^④

また、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「正解(知識)の暗記」、「正解主義」への偏りから脱却し、目の前の課題に向き合い自ら考え対処する課題解決型学習(PBL)^②などの子ども主体の学習活動を推進していきます。
市内大学と連携したイベントや海外の小学校とのオンライン交流など、より実践的な体験活動を通じて、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成^{⑤⑥}するとともに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進します。^{⑤⑥}また、学校図書館の活用による言語能力や情報活用能力の育成^⑦、職業体験や社会見学、社会人による特別授業、企業等と連携して課題解決を考える取り組みなどにより、社会と関わる機会を多く作り、未来を切り開く資質・能力の育成を図っていきます。^{⑧⑩}

さらに、感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業等のICTを有効に活用した学習活動の充実を図る^④など、子どもたちの「ウェルビーイング」の向上に資する新しい教育に向けた取り組みを進めます。

主要事業の状況

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	59,943
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

各中学校区において、小学校から中学校への円滑な接続や、シームレスな学びの推進等に向けて、校区の現状と課題を把握し、小・中学校が連携して以下の取組みを実施している。

○学力向上の取組み

全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。

教科会等における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、家庭における学習習慣の充実に努める。

○体力向上の取組み

各小・中学校で、これまで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組みを推進する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (参考指標1) ※(参1)と表記 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査において全国平均を上回る種目数	実績値 [A] (%)	[小学校] 国語：67.00 算数：63.00 [中学校] 国語：71.00 数学：53.00 (参1) 小2種目 中1種目	[小学校] 国語：68.00 算数：64.00 [中学校] 国語：59.00 数学：53.00 (参1) 小2種目 中2種目	[小学校] 国語：67.00 算数：58.00 [中学校] 国語：55.00 数学：49.00 (参1) 12月頃把握予定
(目標値の根拠) 小学校：国語 全国平均 算数 全国平均×1.01 以上 中学校：国語 全国平均 数学 全国平均×1.01 以上 (参考指標1) 前年度実績以上	目標値 [B] (%)	[小学校] 国語：67.20 算数：63.13 [中学校] 国語：69.80 数学：51.51 (参1) 小2種目 中1種目	[小学校] 国語：67.70 算数：64.03 [中学校] 国語：58.10 数学：53.03 (参1) 小2種目 中1種目	[小学校] 国語：66.80 算数：58.58 [中学校] 国語：54.30 数学：48.78 (参1) 小2種目 中2種目
(めざすべき方向)	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	[小学校] 国語：99.70 算数：99.79 [中学校] 国語：101.72 数学：102.89 (参1) 小 100.00 中 100.00	[小学校] 国語：100.44 算数：99.95 [中学校] 国語：101.55 数学：99.94 (参1) 小 100.00 中 200.00	[小学校] 国語：100.30 算数：99.01 [中学校] 国語：101.29 数学：100.45 (参1) 12月頃算定予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

○学力向上の取り組み

- ◆中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進している。

◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図っている。

○体力向上の取組み

- ◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し実践している。また大阪体育大学と連携した研究指定校において、体力向上に向けた取組みを実践し、2学期に1年間の取組みを公開授業と共に発表を予定している。
 - ◆ICT機器の活用による児童・生徒の体力向上事業に取組むとともに、全小学校において中学年以降の体力向上プラン「アクションプラン」を作成し、体力向上を推進している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	16_01小中一貫教育の推進	R6からR7の 達成度の推移	
	関連計画	-		

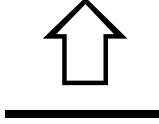
※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

主要事業の状況

1-②	学校園活性化事業	担当課 教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	34,974
				決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校（園）内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、日常生活や地域・社会で発見した課題を主体的に考え、他者との協働により解決する課題解決型学習（PBL）の推進に向けた取組みを進める。さらに、菊咲かそら体験事業や、枚方市小学生スポーツCarnival、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合	実績値 [A] (%) 小：82.20 中：84.90	小：85.50 中：86.90	小：86.40 中：86.70
(目標値の根拠) 全国平均以上	目標値 [B] (%) 小：81.80 中：79.70	小：86.30 中：86.10	小：84.90 中：84.70
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	小：100.49 中：106.52	小：99.07 中：100.93

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆全69校園において設定した研究主題に沿った校内研修等を計画し、外部講師を招聘した校内研修を実施している。また、公開授業を小・中学校において順次実施している。
- ◆菊咲かそら体験事業における菊花展への出展については希望制とし、23校園が出展予定である。
- ◆小学生合同音楽会を11月18日から21日までの4日間、総合文化芸術センターにて開催し、全小学校が参加予定である。
- ◆枚方市小学生スポーツCarnivalを9月20日に枚方市立総合体育館において小学校1年生～6年生を対象にして実施した。（参加者数：244人）

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・指標数値が減少傾向にある。タブレット端末を使用したコミュニケーションは活発になっているとのことなので、状況が正確に伝わるよう指標の見直しや参考指標の設定を検討いただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-		R6からR7の達成度の推移
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課・教育指導課・児童生徒課・支援教育課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額 決算額	415,039
-----	--------------	-----	------------------------	-------------------	------------	---------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

公立小学校では、1学級35人以下の少人数学級編制を、国が段階的に拡充し、令和7年度から全学年での実施となった。本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を、令和7年度からは全学年で実施する。学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 学校教育自己診断の共通項目①「学校生活の中で、楽しいと感じることがある。」②「あなたの学級は、1人1人を尊重し、安心できる場所である。」の肯定的回答率 【参考指標】（R6まで）全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査学校生活の中で、楽しいと感じることがある。「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか」の強肯定回答率	実績値 [A] (%) — 【61.4】	①93.4% ②79.3% 【—】	12月頃把握予定
(目標値の根拠) 対前年度比向上	目標値 [B] (%) — 【65】	— 【65】	①95.4% ②81.3%
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	— 【94.46】	— 【—】

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第6学年まで35人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組んでいる。
- ◆本市独自の学級編制による増学級数59学級に対し、任期付講師43人を配置した。
- ◇慢性的な講師不足により、市費講師の確保に課題がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・その効果を適切に示すことができる指標を今後も引き続き検討いただきたい。（R5点検評価員会議）
- ・今後は、適切な指標により事業の効果を測るとともに、指標の分析においては、否定的な回答にも着目しながら、その要因分析を踏まえ、肯定的回答率の上昇に向けた方策を講じられたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約			
	実行計画	16_02_子どもの確かな学力の定着を図る		
	関連計画	-		

主要事業の状況

1-④	学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	682,700
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- 令和2年度に教職員及び児童・生徒に導入した1人1台端末を更新する。6月から9月までに教職員、生徒、児童の順に端末を切り替える。
- I C T活用による新しい学校教育の確立に向けた「枚方版I C T教育モデル」や国のG I G Aスクール構想に基づき、1人1台端末等のI C Tを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びの一層の推進に取り組む。
- 1人1台端末を効果的に活用した授業実践や好事例を市内小中学校に広く情報発信、教職員研修を通じて教職員の授業改善を図る。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合 ※【】内は全国平均	実績値 [A] (%) 90.03 【90.4】	91.04 【未公表】	年度末把握予定
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 90.03 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	91.04	年度末算定予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆令和7年度端末更新

令和2年度に配備した1人1台端末、周辺機器及び学習支援ソフト、通信手段等について更新を実施。端末とキーボードケースやタッチペン等の周辺機器のほかセルラー通信（5G）について、教職員端末は7月1日、中学校生徒端末は9月1日、小学校児童端末は10月1日に導入を行った。

◆端末更新と同時に学習支援ソフトとデジタルドリルを整理。教職員と学校の連絡ツールも整理し統一を行った。

◇端末更新後の破損故障の対応と予備機の管理

- 1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進
- 1人1台端末の充実による、コンピュータ教室の在り方の検討

これまでの点検評価員等からの主な意見

- 今後とも、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、学校ICT機器等の活用の充実に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）
- 先進的な取り組みを実現している1人1台端末について、契約更新においては、環境充実に向けて計画的に行っていることは評価できる。今後は、I C T活用の影響についての様々な研究結果にも目を向けながら、デジタルとアナログを効果的に使い分ける取り組みをさらに進めていただきたい。（R7点検評価員会議）

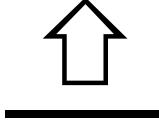
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度市政運営方針		
	実行計画	16_02子どもの確かな学力の定着を図る		
	関連計画	枚方版ICT教育モデル 教育の情報化に関する手引-追補版-文科省		

主要事業の状況

1-⑤	多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	313
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数	実績値 [A] (人・校)	228	173
(目標値の根拠) 前年度実績	目標値 [B] (人・校)	225	228
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	101.33	75.88

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆研究委員会 5月29日 実践報告会・今年度の取組みについて
9月25日 講師「姜尚美氏」による在日外国人・国際理解についての講演会・学習会の実施。
- ◆大阪府在日外国人教育研究協議会集会（北河内大会）6月21日への参加。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・外国にルーツのある子どもへの支援をはじめ、すべての子どもたちが異文化を理解し、多文化を許容することが重要である。
(R5点検評価員会議)

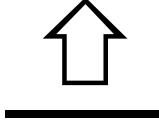
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	16_05多文化共生教育の推進		
	関連計画	-		

主要事業の状況

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	教職員課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	265,241
			教育指導課			

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）または英語専科教員を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET-E）を配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。
- ・英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2・第3学年の全生徒を対象に4技能の到達度を測ることができる学習アプリを活用し、生徒の英語力向上を図る。
- ・関西外国语大学と連携し、留学生との交流等、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「MuChatHirakata」を実施する。
- ・ICT機器を活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を実施する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合	実績値 [A] (%) 小：86.90 中：81.37	小：86.98 中：81.90	年度末把握予定	
(目標値の根拠) 児童（小）の満足度90%以上 生徒（中）の満足度85%以上	目標値 [B] (%) 小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00	
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	小：96.56 中：95.73	小：96.64 中：96.35	年度末算定予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆中学校にNET19名、小学校にJTE27名及びNET-E3名を配置している。
- ◆全小学校に対して、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET-E）を巡回配置、または、希望に応じて中学校NETを臨時で派遣している。
- ◆学習アプリの活用が進んでいる。全中学校第2・第3学年において、自身の到達度を測定するレベルチェックテストをほぼ全員が受験済みである。
- ◆MuChatHirakata（旧枚方英語村）の実施に向けて関西外国语大学と準備を進めている。（実施日は調整中）
- ◆一人一台タブレットを活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を複数回実施している。
- ◇慢性的な講師不足により、市費講師の確保に課題がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・学年があがるごとに、授業が楽しいと答えた児童数が減少している実態を詳しく分析していただき、特に小学校で英語を苦手とする児童をつくらないよう、今後も取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議）
- ・達成度は高水準で推移しているものの、経年比較すると小学校では微減している。学年が上がっても英語を楽しく学べる授業づくりをこれからも進めていただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針		
	実行計画	16_02子どもの確かな学力の定着を図る		
	関連計画	-		

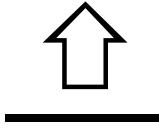
※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

主要事業の状況

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円）	予算額 ※人件費を含む	98,032
				決算額		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・児童・生徒の言語能力を育むため、学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。
- ・市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進する。
- ・小学校における学校図書館を活用した教育活動の支援等に向けて、学校司書確保の取組みを進めていく。
- ・児童・生徒が主体的に主権者として必要な資質・能力を身に付けることの重要性に鑑み、小・中学校に複数紙の新聞配備を進める。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査の質問紙調査より把握 ②市教委独自アンケートより把握	実績値 [A] (%) ①小：52.2 中：43.0 ②小：58.3 中：53.5	① (設問なし) ②小：56.6 中：46.1	①小：50.2 中：39.5 ②小：年度未把握予定 中：年度未把握予定
(目標値の根拠) 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査の質問紙調査より把握（全国の割合と比較） ②市教委独自アンケートより把握（前年度末と比較）	目標値 [B] (%) 小：60.00 中：49.40	① (設問なし) ②小：58.3 中：53.5	①小：53.2 中：40.4 ②小：56.6 中：46.1
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	小：87.00 中：87.04 ① — ②小：97.08 中：86.16	①小：94.36 中：97.77 ②小：年度未算定予定 中：年度未算定予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆学校司書配置小学校による「学校図書館を活用した取組報告書」をポータルサイト「まなViVA!ひらかた」に掲載し、情報発信を行っている。また、司書教諭・学校司書研修にて、学校図書館の活用や小中学校の好事例を具体的に紹介し、共有することで、読書活動の取組推進を図っている。
- ◆市教委独自アンケートについて、読書の取組推進の効果が表出されやすいアンケート項目を再検討し、新たに対象学年を小学2年生を追加した小学2年生・小学4年生～中学3年生へ同アンケートを実施した。
- ◇各校で、読書活動の取組推進を図っているものの、アンケートでの数値としては表れにくい。学校別のアンケート結果や貸し出し冊数等の経年変化をみると、増加傾向が見られる学校があるものの、まだ、市全体としての効果とは言い難い状況である。引き続き、好事例を発信し、各学校の状況に応じた取組の推進を支援していく。
- ◇学校司書の配置換えにより中学校図書館環境の維持管理が困難な状況が窺える。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・令和3年度については、事業指標の結果から、特に小学生の読書習慣に課題が生じているため、対策を講じていただきたい。（R4点検評価員会議）
- ・様々な取組は行われているものの、指標となる数値は小学校では減少傾向、中学校では横ばいとなっており、目標値との開きも縮小していない。今後も、好事例の発掘と共有を行うなど、読書活動の活性化に向けて取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針		
	実行計画	16_02子どもの確かな学力の定着を図る		
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

主要事業の状況

1-⑧	進路指導等事務	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	2,983			
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<p>・進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。</p> <p>・教育活動全体を通して学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。</p>									
指標	R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容) 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合（パスポート作成児童・生徒数／5月1日現在全児童・生徒数）	実績値 [A] (%) 100.00 (29,292/29,292)			100.00 (28,675/28,675)		100.00			
(目標値の根拠) 児童・生徒全員がキャリア・パスポートを取得すること。	目標値 [B] (%) 100.00			100.00		100.00			
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)			100.00		100.00			
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを、業務を受託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が枚方市立中学校に周知及び案内をした。また、保護者等を対象に奨学金に係る対面での説明会を令和7年6月27日に開催（参加者21名）するとともに、枚方市教育委員会のホームページに奨学金の関係資料を掲載し、説明のための動画配信を行っている。</p> <p>◆例年に引き続きキャリア・パスポートを活用したキャリア教育を全小中学校において実施している。</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度					
	市長公約	-							
	実行計画	-		R6からR7の達成度の推移					
	関連計画	-							

主要事業の状況

1-⑨	学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	51,347
事業概要（令和7年度の取り組み内容）						
児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる民間の学習コンテンツを利用できるように環境を整備し、学力向上の取り組みを推進する。また、放課後学習教室の開室方法を見直し、中学生対象に民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、生徒の学習支援を行う。						
指標	R5年度	R6年度	R7年度			
(実績値の内容) 放課後学習教室の実施回数（夏季集中学習教室を除く。） (参考指標1) ※（参1）と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 (参考指標2) ※（参2）と表記 実人数（登録者数）	実績値 [A] (回)	513 (参1) 28.5% (参2) 449人	513 (参1) 48% (参2) 407人	221 (参1) 年度末把握予定 (参2) 536人		
(目標値の根拠) 【R5年度】年間27日（中19校）開室 【R6年度】年間27日（中19校）開室 【R7年度】年間27日（中19校）開室 (参考指標1) 前年度実績以上 (参考指標2) 1校20人×19校	目標値 [B] (回)	513 (参1) 48% (参2) 240人	513 (参1) 28.5% (参2) 380人	513 (参1) 48% (参2) 380人		
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00 (参1) 61.95% (参2) 187.08%	100.00 (参1) 168.42% (参2) 107.11%	43.08 (参1) 年度末算定予定 (参2) 141.05%		
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図っている。 ◆5月から中学生対象の放課後学習教室ひらスタを開室した。8月には夏季集中学習教室を開催し、参加生徒（301名）の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を行った。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度			
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-		R6からR7の達成度の推移		

1-⑩	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	3,913
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 学校支援社会人等指導者を活用した回数	実績値 [A] (回)	1,623.0	1,639.0	610.0
(目標値の根拠) 活用回数の上限（1校園あたり約22回）	目標値 [B] (回)	1,820	1,865	1,865
(めざすべき方向)	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	89.18	87.88	32.71

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆小・中学校において、菊の栽培、読み聞かせ、性教育、平和教育、伝統、演劇、キャリア教育、学習補助を実施し、教育活動の活性化を図っている。

◆幼稚園においては、学校支援社会人等指導者の活用により、読み聞かせ、科学遊び、スポーツなどを実施している。

これまでの点検評議員等からの主な意見

・指導者確保の工夫として、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域にあった方法を検討していただきたい。（R5点検評議員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会を作ることで、全ての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にする心を養います。^①また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身に付けられる教育を進めます。^②

外国籍や長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対しては、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めながら、学習の中で互いの文化を学び、尊重し合うことで、多文化共生の推進に取り組みます。^{②③}

小・中学校期における健全な身体の育成に向け、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した専門スタッフによる水泳指導^⑤などにより、体力・技術力の向上に取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材の活用や、大学、地域活動団体との連携によって、子どもたちが継続してスポーツや文化芸術に触れ合うことのできる機会の確保に努めます。^{④⑥⑯}

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、給食を通じて、望ましい食習慣や食を選ぶ力を育むとともに、食物アレルギーに配慮した安全・安心な給食の提供など、健全な食生活の形成と健やかな体が育まれる環境づくりを推進します。^{⑦⑧⑨⑩⑪⑫} 小学校給食については、子育て世帯のさらなる負担軽減を図るため、令和6年2学期より給食費無償化に取り組んでいます。^⑦ 中学校給食については、これまでの検証や課題整理を踏まえ、PF方式*による新給食センターの整備などにより、令和10年2学期からの全員給食実施に向けた取り組みを進めます。^⑯

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑯や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します。^⑯

主要事業の状況

2-①	人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	1,642
事業概要（令和7年度の取り組み内容）						
学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。						
指標			R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数	実績値 [A] (人)		435	431	257	
(目標値の根拠) 前年度実績	目標値 [B] (人)		486	435	431	
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)		89.5	99.08	59.6	
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆ひらがな学習会4月9日への参加 ◆大阪府人権教育研究協議会夏季研究大会8月19日～20日への参加 ◆第一回人権担当者会議5月28日人権担当者のチーム作り・今年度の取り組みについて、第二回6月17日レポート報告・各校レポート交流を実施 ◆枚方市人権教育研究協議会 未来塾 人権をベースとした集団作り、授業づくりについての交流。人権教育をどう学校に広めていくかを考える活動を6月4日・9月10日に実施						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・研修の実施で完了するのではなく、研究事業としての成果をまとめるなど、研究の積み上げを今後に生かしていく効果的な方法に努めていただきたい。（R6点検評価員会議） ・昨年度に意見していた研究事業の成果をとりまとめたことは評価できる。研究成果は研修などで活用いただき、人権教育のさらなる推進を期待する。（R7点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度			
	市長公約	-				
	実行計画	-	R6からR7の 達成度の推移			
	関連計画	-				

2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	支援教育課
-----	--------------------------	-----	-------

主要事業の状況

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	5,062
事業概要（令和7年度の取り組み内容）						
日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。						
指標	R5年度	R6年度	R7年度			
(実績値の内容) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合 (対応可能な言語数／対応を必要とする言語数)	実績値 [A] (%)	100.00 (6/6)	100.00 (7/7)	100.00 (6/6)		
(目標値の根拠) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100%	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00		
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00		
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣した。</p> <p>◆指導員が不足した言語がある場合は、関係機関（観光交流課）と連携し、市のHPや広報等で幅広く登録の募集を募っているところである。</p> <p>◆教育指導員を派遣している言語（中国語、ベトナム語、スペイン語、ウルドゥー語、ネパール語、インドネシア語）</p> <p>◇海外からの編入後、早期の適切な支援が必要であることから、編入1年目は週2回、2年目は週1回をベースとしながらも、児童・生徒の状況をふまえ、派遣回数を調整できるようにするなど、子どもの実態に応じた支援（編入直後の早期支援・派遣期間等）が可能になるように見直していく予定。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・子どもたちの実態を踏まえ、特に手厚い支援が必要とされる来日直後の子どもたちへ十分な支援がなされるよう、事業の効果的な運用に努められたい。（R7点検評価員会議）</p>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度			
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-	R6からR7の達成度の推移			

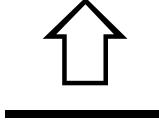
2-④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教職員課 教育指導課
-----	-------------------------	-----	---------------

主要事業の状況

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	54,308
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- 市立小学校における水泳授業について、民間施設や民間の専門スタッフを活用した取組みを進めることで、児童の泳力向上を図る。併せて、水泳授業に関連する業務の改善や、学校プール施設の老朽化に伴う維持管理、改修・改築費用の縮減などにつなげる。
- 令和7年度の実施校14校※前年度実施対象校13校に加えて新規1校（津田）
- 令和7年1月に策定した「小学校水泳授業民間活用に関する基本的な考え方」に基づき、府内調整を進め、学校、事業者の意向を確認しながら全校実施に向けて取り組む。令和7年度中に全校実施に向けた年次計画を作成予定。
- 現禁野小移転後の跡地活用の方針を踏まえ、新たなプール施設整備について検討を進める。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 水泳授業の委託を行った学校の数	実績値 [A] (校)	11	12	14
(目標値の根拠) 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。	目標値 [B] (校)	11	13	14
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	92.31	100.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆令和6年度の対象校13校（※）に新たに1校（津田小）を加え、計14校の学校で本事業を実施している。
(※) 令和6年度対象校のうち、水室小（学校へのスタッフ派遣）については、入札不調となつたため同年度の事業を中止し、同校の教員により水泳授業を行つた。
- ◆令和7年1月に策定した「小学校水泳授業民間活用に関する基本的な考え方」に基づき、府内調整を進め、学校、事業者の意向を確認しながら、全校実施に向けて取り組んでいる。
- ◆令和7年度中に、全校実施に向けた年次計画を作成予定としている。
- ◆現禁野小移転後の跡地利用について、民設民営による新たなプール施設の確保に向け、関係部署等との調整を進めている。
- ◇施設利用校の学校プール施設の取り扱いも含めた跡地活用について、整理が必要である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・費用対効果も注視しつつ、子どもたちが楽しみながら泳力向上をめざせる方策を講じられたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明		
	実行計画	16_03 高い指導力と意欲を持つ教職員の育成		
	関連計画	-		

主要事業の状況

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	16,919
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 中学校部活動指導協力者の派遣回数 (指導協力者の派遣1回につき2時間、教員の負担軽減が図られたとみなす)	実績値 [A] (回)	5,167.5	5,463	3,089
(目標値の根拠) 派遣回数の上限	目標値 [B] (回)	6,650	6,650	6,650
(めざすべき方向)	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	77.71	82.15	46.45

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆延べ125名の部活動指導協力者の登録があり、市内19中学校のすべての学校で活用している。

◇部活動指導協力者に対するハラスマント等に関する研修の実施時期及び手法等の検討

◇中学校部活動地域展開に係る制度構築における部活動指導協力者の取扱いの検討

これまでの点検評価員等からの主な意見

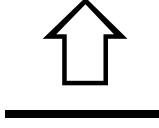
・教員と同様に、部活動指導協力者に対しても、体罰防止等の研修の実施を検討すべきである。（R5点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

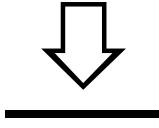
主要事業の状況

2-⑦	小学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	1,317,752			
					決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<p>・全小学校の児童を対象に、2箇所のセンター方式の共同調理場、5箇所の親子方式共同調理場及び22箇所の単独調理場において調理、配達、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>・小学校給食の無償化については、今後も継続して子育て世帯の負担軽減に取り組むとともに、引き続き学校給食摂取基準に基づいた給食提供を実施していく。</p> <p>・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会へ補助することで、児童に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に努めた。今後も引き続き、質を確保した給食提供に取り組む。</p> <p>・学校給食の牛乳パックについては、民間事業者と連携し、リサイクルに取り組むとともに、指導担当部署と民間事業者との調整により、児童への環境啓発への取組みにつなげており、今後も継続して実施する。</p>									
指標				R5年度	R6年度	R7年度			
(実績値の内容)									
小学校給食提供食数 (提供できた食数)	実績値 [A] (食)		4,057,831	3,947,501					
【参考】 児童1人1月あたりに負担できた給食費	【参考】 (円)		【参考】 —	【参考】 3,800	1,810,492				
(目標値の根拠)									
年間の給食提供食数 (年間で提供しなければいけない食数(※ 学校から提供の報告があった食数))	目標値 [B] (食)		4,057,831	3,947,501	3,951,820				
【参考】 保護者実費負担分を軽減できた児童1人1 月あたりの給食費	【参考】 (円)		【参考】 —	【参考】 3,800	【参考】 3,800				
(めざすべき方向)									
	達成度 [C] (%)		100.00	100.00	45.81				
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆枚方市共同調理場、親子方式共同調理場及び22箇所の単独調理場において、安全で確実に学校給食を提供できている。</p> <p>◆小学校給食の無償化については、令和6年度2学期より開始し、子育て世帯の負担軽減に取り組むとともに、食材料費の物価高騰相当額を学校給食費支援事業補助金により、枚方市学校給食会へ補助することで、質を確保した給食提供に取り組めている。</p> <p>◆牛乳パックのリサイクルは引き続き、関係部署等と連携を図り取り組んでいる。</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
<p>・学校給食の牛乳パックのリサイクルの取組みの教育効果を高めるため、児童へのフィードバックの更なる充実を期待する。（R5 点検評価員会議）</p>									
関連 計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度						
	市長公約	—							
	実行計画	—							
	関連計画	—		R6からR7の 達成度の推移					

主要事業の状況

2-⑧	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円）	予算額	—			
				※人件費を除く	決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<p>小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図っている。令和4年度より精米の納入先を切り替え、地元農産物の使用率が大幅に減少したが、引き続き枚方産及び府内産野菜の積極的な活用に取り組んでいる。今後は、献立等を工夫することにより、できるだけ多く地元農作物に触れる機会を設けるよう取り組む。</p>									
指標	R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容) 給食実施日数に対する地元農産物の使用日数の割合 (大阪府内産・枚方産の使用日数の割合) (参考) 地元農産物の割合 (大阪府内産・枚方産の使用割合)	実績値 [A] (%)	— (参考) 5.00	— (参考) 7.4	36.76					
(目標値の根拠) 年間の地元農産物使用日数の割合目標値 (参考) 第3次枚方市食育推進計画の地元農産物使用目標値	目標値 [B] (%)	— (参考) 38.00	—	40.00					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	— (参考) 13.16	—	91.90					
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆令和7年度から目標値を「年間の地元農産物使用日数の割合」として、日々の給食にできる限り地元産の野菜類を使用するよう取り組んだ。9月現在、特に、エンドウ豆、じやがいも、なす、玉ねぎ、青ネギ、かぼちゃなど8品目の地元産を使用し、9月末現在で、36.76%の使用となった。</p> <p>◇食材の高騰や天候の影響により入荷困難な食材も生じてきており、安定した食材の確保が課題となっている。</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度					
	市長公約	—							
	実行計画	—		R6からR7の達成度の推移					
	関連計画	—							

主要事業の状況

2-⑨	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円）	予算額	—			
				※人件費を除く	決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対応の適切かつ的確な取組みを進めるため、主治医が記載した学校生活管理指導表や学校におけるアレルギー疾患対応の手引きに基づき、学校給食における食物アレルギー対応上の事故（救急搬送）件数（新規発症を除く）が0件となるよう、安全の確保に取り組む。 ・中学校給食においては、毎日、8大アレルゲンを使用しない代替食を提供することで、より安心安全な給食提供を実施しており、今後も継続して取り組む。 									
指標	R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容) アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）件数	実績値 [A] (件)	0	0	0					
(目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）がないこと	目標値 [B] (件)	0	0	0					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00					
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
◆9月末現在、学校給食における食物アレルギー対応上の事故（救急搬送）件数（新規発症を除く）が0件であり、継続して取り組む。また、小学校給食においては、卵、乳、エビの除去食対応、中学校給食については、毎日8大アレルゲンを使用しない対応を行っており、今後も引き続き実施していく。									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度						
	市長公約	-							
	実行計画	-		R6からR7の達成度の推移					
	関連計画	-							

主要事業の状況

2-⑩	学校健康管理事業	担当課	学校支援課	事業費（千円）	予算額 決算額	6,425
				※人件費を除く		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

学校園医（内科医、眼科医、耳鼻科医）、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校44校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブランシング指導を実施する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」の規定どおりに学校園医を配置できている割合	実績値 [A] (%) 107.96	107.96	107.96
(目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出	目標値 [B] (%) 100	100	100
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 107.96 ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	107.96	107.96

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆市立小中学校において、内科検診・運動器検診・眼科検診・歯科健康診断を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校園医により行った。
- ◆結核対策委員会（6月・3月）・心臓検診協議会（9月・2月）・腎臓検診協議会（6月・10月）を年間各2回開催予定。
- ◆学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質（中学校部活動校のみ）、照度の検査等を実施する。
- ◆歯科衛生士によるブランシング指導を各小学校で学年を決めて1学期16校で実施し、2学期27校実施予定。
- ◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行う。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	-		
	関連計画	-		

主要事業の状況

2-⑪	健康診断事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	37,074
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

全学校において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 定期健康診断の受診率（受診者数/対象者数×100）	実績値 [A] (%)	99.19	99.55	99.45
(目標値の根拠) 対象者全員	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向)	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	99.19	99.55	99.45

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆全児童・生徒対象に、結核検診、内科検診、運動器検診、眼科検診、尿検査を実施し、歯科健康診断を実施した。
- ◆小学校第1学年及び中学校第1学年対象に、心臓検診を実施した。
- ◆小学校第1・3学年及び中学校第1学年対象に、耳鼻科検診を実施した。
- ◆小学校第5学年及び中学校第1学年の希望者対象に、モアレ撮影検査を実施する。
- ◆結核検診総受診者数：27,808人、総対象者数：27,963人

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・不登校児童生徒に対しても、様々な方法でアプローチされていることは評価できる。引き続き、きめ細やかな対応を行い、全員が受診できるよう努めていただきたい。（R6点検評価員会議）

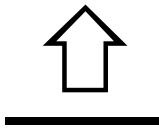
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R6からR7の 達成度の推移	
	関連計画	-		

主要事業の状況

2-⑫	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円）	予算額	454,296
				※人件費を除く	決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配達、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。
- ・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会へ補助することで、生徒に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に努めた。今後も引き続き、質を確保した給食提供に取り組む。
- ・学校給食の牛乳パックについては、民間事業者と連携し、リサイクルに取り組んでおり、今後も継続して実施する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 中学校給食の喫食率	実績値 [A] (%) 37.03	38.55	39.80 (6月時点)
(目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率	目標値 [B] (%) 50.00	50.00	50.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 74.06 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	77.10	79.60

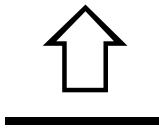
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆第一学校給食共同調理場において調理、配達、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務について、委託により滞りなく実施している。また、食材料費の物価高騰相当額を学校給食費支援事業補助金により、枚方市学校給食会へ補助することで、生徒に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に取り組んでいる。
- ◆喫食率については、今年度実績で平均39%を超えている状況となっている。
- ◆牛乳パックのリサイクルは、引き続き、関係部署等と連携を図り取り組んでいる。
- ◇本市の子育て世帯への経済的負担軽減の目的に基づき、食材料費の高騰分への補助を継続していく必要があるが、物価高騰の終息が見えない中、今後の方向性について財源確保や今後の国の動向も見据え、考えていく必要がある。

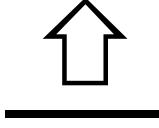
これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約			
	実行計画		R6からR7の達成度の推移	
	関連計画			

主要事業の状況

2-⑬	文化財活用事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	1,142
事業概要（令和7年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替え ・文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） ・歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） ・文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示、枚方宿での「まちかど歴史展示」） ・新旧鋳物工場を巡る「鋳物ツーリズム」 ・発掘調査現地説明会 ・刊行物（文化財関係図書等）の発行など ・出前講座 ・古文書講座 						
指標	R5年度	R6年度	R7年度			
(実績値の内容) 歴史関連イベントの参加者数	実績値 [A] (人)	2,210	2,337	507		
(目標値の根拠) 過去のイベント（平成18年～前年）の参加者数の平均値を目標値とする（事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた）	目標値 [B] (人)	1,258	1,309	1,324		
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	175.68	178.53	38.29		
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆文化財説明板の設置（春日神社の秋祭り）</p> <p>◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示） 「百濟王らは朕の外戚なり」 336人</p> <p>◆市民歴史講座「南北朝・室町期の枚方市域」 116人</p> <p>◆鋳物ツーリズム1回目（コマツ大阪工場） 21人</p> <p>◆文化財だよりの発行、出前講座等</p> <p>◆古文書講座（初級） 34人</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針				
	実行計画	19_01 歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実			R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-				

主要事業の状況

2-⑭	野外活動センター利用促進事業	担当課 スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	3,805
事業概要（令和7年度の取り組み内容）					
野外活動センターの利用増をめざし、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。					
指標		R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 施設の市内小中学校のキャンプ利用件数 (日帰り・宿泊)	実績値 [A] (件)	19	23	10	
(目標値の根拠) 前年度実績又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数	目標値 [B] (件)	24	22	21	
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	79.17	104.55	47.61	
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）					
◆学校キャンプの支援は、運転手の不足により課題となっているバスの手配について各学校との日程調整を早い段階で進める。 ◆サウンディング型市場調査の結果を取りまとめ、リニューアルに向けた取組を進めている。					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度		
	市長公約	令和6年度市政運営方針			
	実行計画	17_04 スポーツ活動の推進	R6からR7の達成度の推移		
	関連計画	-			

主要事業の状況

2-⑯	中学校給食における全員給食実施事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円）	予算額 決算額	64,770
				※人件費を除く		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・学校給食は、子どもたちに栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進や体位向上を図るだけではなく、食育の教材として活用することで生涯にわたる豊かな食生活を培うものであることから、中学校の全員給食を行い、より豊かな学校生活をめざす。
- ・令和6年度はアドバイザリー委託において、新給食センターの整備をPFI方式で進めていく上で必要な実施方針や要求水準書を作成するとともに、枚方市立中学校全員給食事業PFI事業者選定審議会を開催し事業者公募に向けての取組みを進めたが、事業者の参加表明がなかった。今後は、公募等の内容や今後の進め方等についての検証を進め、できるだけ早期に中学校全員給食が実施できるよう取組みを進めていく。

【整備項目】

- ①配膳室エアコン設置、②備品購入、③懇話会開催、④今後の方針の決定、⑤方針に基づく計画の作成、⑥学校への説明、⑦第一共調設計委託、⑧可能性調査、⑨アドバイザリー委託、⑩第三共調解体・設計、⑪配膳室拡張設計委託、⑫第三共調工事、⑬配膳室拡張実施工事、⑭第一共調改修工事、⑮物品・大型備品等の購入

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率 ※「整備項目」は「事業概要」の①～⑯のとおり	実績値 [A] (%)	47.33 (指標①②③④⑤⑥ ⑧⑨)	49.33 (指標①②③④⑤⑥ ⑧⑨)	—
(目標値の根拠) 各年度の整備達成率	目標値 [B] (%)	60.00 (指標①～⑨)	51.33 (指標①②③④⑤⑥ ⑧⑨)	68.00 (指標①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪)
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	78.88	96.10	—

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆入札の再公募に向け事業者へのサウンディング調査を行い、その調査結果を基に、関係部署等と連携し、公募内容やスケジュール等の見直しを行った。今後は、本スケジュールに基づき、中学校全員給食に向け、取組みを進めていく。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度市政運営方針		
	実行計画	15_01小学校の給食無償化		
	関連計画			

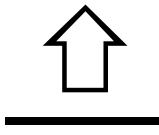
主要事業の状況

2-⑯	中学校部活動地域連携事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	15,482
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

中学校部活動の在り方については、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に沿った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する府内委員会において協議、検討を進めていく。

令和7年度は、令和6年度の試行実施における検証を基に、「ひらかたモデル」の策定に向けて、意見聴取会である有識者、保護者、校長、関係団体からなる枚方市中学校部活動の在り方懇話会の開催、及び学校内外における地域クラブ活動の更なる試行実施等を行う。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 休日に顧問教員なしで活動する中学校部活動及び地域クラブ数	実績値 [A] (クラブ)	8	8
(目標値の根拠) 部活動指導員（会計年度任用職員）の配置、委託事業者からの部活動指導者の派遣及び市内大学クラブによる受入れにより地域連携を推進	目標値 [B] (クラブ)	6	9
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	133.33	88.89

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆中学校部活動の在り方について、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に沿った今後の枚方市の部活動の在り方に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する府内委員会において協議、検討を進めている。

◆令和7年度は試行実施として、5月から部活動指導員（会計年度任用職員）の学校配置及び市内2大学のクラブにおける小・中学生の受け入れを実施している。また、4月から委託事業者による休日（土・日・祝日）において1中学校3クラブへ指導者を派遣している。市認定クラブの制度設計を行い、令和7年度中の実施に向けて準備を進めている。

◇部活動指導員の確保に向けた周知・確保手法等の検討

これまでの点検評価員等からの主な意見

・地域の実態に即した実施が求められ、多くの課題がある事業だが、今後も地域移行に向けて、試行錯誤しながら取り組みを進めてほしい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R5からR6の達成度の推移
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	16_03_高い指導力と意欲を持つ教職員の育成		
	関連計画	-		

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で「研修履歴を活用したキャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「『Hirakata授業スタンダード』に記載されている授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善」「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実」「課題解決型学習（Project Based Learning [PBL]）による授業改善」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、教職員の資質・指導力の向上をめざします。^①

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげる^②ことで、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる^③とともに、子どもと向き合う時間の確保や学校教育の水準の維持・向上に資するため、教職員が、健康でやりがいを持って生き生きと勤務できるよう、業務量を適切に管理するとともに心理的安全性*のある職場づくりを強化する等、学校の働き方改革を推進します。

さらに、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント*」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修のほか、教職員研修に関する最新の情報や資料、研究校の実践などを確認できるポータルサイト「まなViVA！ひらかた」の活用促進などで指導力の底上げを図ります。^①また、情報活用指導力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用指導力の向上に係る研修にも取り組みます。

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	10,227
-----	------------	-----	-------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、「研修履歴を活用したキャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「Hirakata授業スタンダード」に記載されている授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善」「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援」「課題解決型学習(Project Based Learning〔PBL〕)による授業改善」の4点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー等（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、初任期教職員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「GIGAフェス」を実施。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合	実績値 [A] (%) 96.01	96.87	95.10
(目標値の根拠) 研修の実質的効果	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 96.01 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	96.87	95.10

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ～子どもの学びと教職員の学びは相似形『研修観の転換』による、新たな教職員の学びの姿の実現～」をテーマに、「研修履歴を活用したキャリアステージ（育成指標）に応じて学び続ける教職員の育成」「Hirakata授業スタンダード」に記載されている、授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善」「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実」「課題解決型学習(〔PBL〕Project Based Learning)による授業改善」の4点を重点目標とし、「基本研修」「職務研修」「専門研修」「パッケージ講座」を計画・実施。

◆学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー等（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、初任期教職員等への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。

◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として、「未来社会を生きるすべての子どもたちが、可能性に挑戦することについて、発表や体験を通じて感じる機会とする。」「枚方市内の小中学生がPBLの実践発表をとおして、探究的な学びの実現を広くアピールする。」ことを目的に「GIGAフェス2025」を令和8年2月8日に実施予定。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたようである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度市政運営方針		
	実行計画	16_02子どもの確かな学力の定着を図る		
	関連計画			

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	500
-----	----------------	-----	-------	--------------------	------------	-----

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。2年間の講座受講後、授業マイスターの認定試験を行う。授業マイスターは、示範授業、実践発表を一定の回数行い、その後、授業の達人の認定試験を受けることができる。

●授業の達人養成講座（※段階的に「達人」に認定するシステムを構築する）

- 外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。
- 教材研究、学習指導案の検討を行い、年2回の研究授業（公開授業）を実施。
- 先進地域、先進校への視察を実施。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度	実績値 [A] (%) 99.31	99.08	96.20
(目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 99.31 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	99.08	96.20

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業マイスター」「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施している。
- ◆令和7年度は、2年継続研修の2年目として、『授業の達人養成講座』を9月30日時点で8回実施した。Hirakata授業スタンダードを体現できる教員の育成に向けて、受講者が枚方市のモデルとなる授業を展開できるよう、本講座を実施している。
- ◆授業マイスターの認定については方向性を示し認定者がでているが、授業の達人の認定者がでていないことが課題であった。9月30日時点で、授業の達人の認定までの流れ、実施要項、認定基準等を見直し改訂することができた。現在、授業の達人認定に向けて2名の候補者がおり、年度末までに授業の達人認定者がでるように進めていく。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそ�である。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）
- ・「授業の達人養成講座」の受講者の理解度・満足度がともに100%であることは評価できる。今後は、受講者の研修内容の伝達度に着目した指標を設定することについて、検討をお願いしたい。（R5点検評価員会議）
- ・マイスター認定後、達人認定までの基準に関してロードマップを作成し明確化したことは評価できる。認定に向けて適切なフォローを行なながら、質の高い教育を実践する教員の育成に取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）
- ・今後も、見直しを行った達人認定の基準をもとに、指導力の高い教職員の育成に取り組まれることを期待する。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	16_03高い指導力と意欲を持つ教職員の育成	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	-----------------------	-----	-------------------

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害の有無にかかわらず、全ての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育つ環境づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させるとともに、全ての学びの場における子どもたちの過ごしやすさを検討し、ユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます。

障害のある子どもの教育機会の確保や自立と社会参加の推進に当たってのコミュニケーションの重要性に鑑み、ICTの活用も含め、障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教科書、教材、支援機器等の活用を促進します。また、通級指導教室については、特別支援教育支援員の配置拡充によるサポートの充実を図るとともに、他校に移動することなく時間割の中で通級による指導を受けることが可能な自校式通級指導教室の拡充を図ります。

また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進める^②とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます。^③

さらに、専門的な知識・技能をもつ相談員が市内幼稚園、認定こども園を訪問して教育相談に応じる幼稚園巡回相談や、就学前の幼児を対象とした言語訓練指導など、個に応じた指導、支援を通じて就学前から各園、家庭と連携して支援教育の充実を図っていきます。^{①④}

配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心に、教育支援ツールなどを活用して、より効果的・効率的に個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・見直しを行うとともに、引き続き、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要な全ての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で一人ひとりの状況に応じた支援教育の充実に取り組みます。^①

また、学識経験者や教職員、市民で構成される支援教育充実審議会で議論を深め、専門的・多角的な視点をもって支援教育の充実を図っていきます。^①

4-①	支援教育推進事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	474,292
-----	----------	-----	-------	--------------------	------------	---------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。
- ・令和5年度から開催している枚方市支援教育充実審議会については、令和6年度に中間報告、令和7年度は最終年度として答申をいただく。答申を踏まえて「（仮称）枚方市の支援教育の在り方」の策定をめざす。
- ・障害のある児童・生徒の適切な就学及びその後の個別の教育支援計画の策定等に際し、医学、心理学、教育学の専門家（枚方市教育支援アドバイザー）より助言を受け、支援教育の充実を図る。
- ・肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、学習等の介助を行う。
- ・学校看護師を配置し、小中学校の医療的ケアを必要とする児童・生徒の日常生活を支援する。
- ・通級指導教室を設置した小中学校の支援を要する児童・生徒の生活、学習等の補助を目的として、支援教育支援・介助員（発達担当）、支援教育補助員（発達担当）の配置を行い、通級指導教室未配置校についても配置を進める。令和7年度については、全中学校に2名配置をめざす。
- ・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。
- ・支援学級在籍の児童を対象に、馬とふれあい、豊かな心の育成を目的として自立のための支援を行う。
- ・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。
- ・車椅子で移動が必要な児童・生徒が在籍する学校に対して、階段の昇降に必要な「階段昇降車」を貸与する。
- ・通級指導教室において、指導に必要な教材や備品等の整備を行う。
- ・支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。
- ・効果的なアセスメントを実施し、適切な教材を選択できるようにするために、全小中学校に導入した教育支援ソフトを活用して、児童・生徒一人ひとりに個別最適な指導を行う。
- ・支援教育の向上、発展に寄与する研究会に参加し、本市の支援教育のより一生の充実に努める。
- ・支援教育課職員が、学校園、保育所（園）、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。
- ・通級指導教室の全校設置に向けて、設置校の取組や効果的な学びの場の選択について発信する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数	実績値 [A] (回) 112	121	86
(目標値の根拠) 小・中学校専門家、理学療法士等は前年度実績、リーディングチームは前年度実績の1割増。	目標値 [B] (回) 120	113	120
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) 93.33	107.08	71.67

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒の支援に関し、山田小、枚方小、殿山第二小に専門家を派遣し、指導・助言した。また、支援教育課職員が、学校園、保育園所、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。
- ◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、44小学校、19中学校すべてに非常勤講師を加配した。
- ◆肢体不自由児介助員を27人（通年・短期）配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行った。また肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施し、併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行った。
- ◆学校看護師を33人（通年・短期）配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援した。
- ◆特別支援教育支援員を86人（通年・短期[支援教育補助員]）配置し、発達に課題のある児童・生徒の学習の補助や学校生活における介助を行った。
- ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級・通級指導教室の設備整備を行った。
- ◆枚方市支援教育充実審議会を6回開催し、本市の支援教育の充実について、諮詢し、審議を行った。
- ◇支援を必要としている児童・生徒に見合う人員（学校看護師、肢体不自由児介助員、特別支援教育支援員）の確保が課題で、特に肢体不自由児の介助に従事する肢体不自由児介助員の人員不足、医療的ケアに従事する学校看護師の人員不足が顕著である。
- ◇支援を必要としている児童・生徒が年々増加しているため、消耗品費、応用器具費の確保が必要である。
- ◇車イス等による移動に介助が必要な児童・生徒が在籍する学校には、階段昇降機を配置しているが、学校施設のエレベーター整備等に関する方針等に基づき、引き続き学校設備の充実に向けて取り組んでいく必要がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・他市のモデル事業となるよう、今後も引き続き、一人のひとりの教育的ニーズを大切にした「ともに学び、ともに育つ教育」の実現に向け、取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議）
- ・自校式通級指導教室を導入するなど、今後の通級指導教室の拡充に向けての取り組みを進めていることは評価できる。また、支援教育充実審議会の答申を踏まえた今後の取り組みについても期待したい。（R6点検評価員会議）
- ・枚方市支援教育充実審議会での議論を踏まえた今後の支援教育の方向性に沿った取り組みを進めるなど、引き続き、支援教育の充実に尽力されたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度市政運営方針		
	実行計画	16_08全小中学校に通級指導教室を設置、支援教育の推進		
	関連計画	-		

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	2,595
-----	----------------------	-----	-------	--------------------	------------	-------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。
- ・市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) タクシーを利用した児童・生徒の人数	実績値 [A] (人)	28	33	35
(目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数	目標値 [B] (人)	30	30	30
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	93.33	110.00	116.67

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

利用を希望する児童・生徒に対して、本事業を実施することで適切な支援を行うことができている。

- ◆毎日利用している児童・生徒 6人
小学生3人、中学生2人、支援学校生1人
- ◆雨天時など必要に応じて利用している児童・生徒 29人
小学生25人、中学生4人

◇本事業の趣旨を理解・賛同して、協力依頼に応じるタクシー会社が少ない。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	教育研修課
-----	-------------------------	-----	-------

4-④	就学前支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円）	予算額 決算額	5,731
				※人件費を除く		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。
- 就学前の幼児を対象とした言語訓練指導（幼児ことばの教室）を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。
- ・幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員（旧：支援教育担当）及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率	実績値 [A] (%) 100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠) ニーズ（申し込み）に対する実施率100%	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) 100.00	100.00	100.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語面に課題がある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施した。
- ◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数：175回
- ◆幼児ことばの教室の実施回数：107回
- ◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置した。
- ◆支援教育担当の配置状況：44名
生活支援員の配置状況：15名

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・専門員の巡回等による幼児や保護者に対する相談支援が重要であり、家庭に寄り添った支援を進めていただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり		
	関連計画	-		

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を促すとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います。^{①②③}また、小学校区ごとに作成する「架け橋コンパス」を活用した、幼保こ小の架け橋プログラムの取り組みや、就学前児童と小学生の交流体験、職員の合同研修などを通じて幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連續性を踏まえた取り組みを推進します。^①

幼稚園での預かり保育については、受け入れ定員の拡大や実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労支援等のニーズに対応できるよう取り組みます。^④

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取り組みを推進します。^{①④}

主要事業の状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円）	予算額	588			
				※人件費を除く	決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<p>幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所（園）等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。また、幼保こ小の架け橋プログラム事業の取り組みとして、市がコーディネーターの役割を担いながら、地域就学前児童施設や小学校との関係の構築を図る。</p>									
指標			R5年度	R6年度	R7年度				
(実績値の内容) ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動（学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など）を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する	実績値【A】 (園)	12	12	12	12				
(目標値の根拠) すべての市立幼稚園において①及び②を達成する（すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は6園×2=12となる）	目標値【B】 (園)	12	12	12	12				
(めざすべき方向) 	達成度【C】 (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	100.00				
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆小学校の空き教室での給食体験や、校庭での散歩及び小学校の教員による授業体験など、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を実施した。また、併せて幼保こ小連携推進に関して、架け橋期における幼児期や児童期の育ちについて教職員等で合同研修を行ったり、互いの授業を視察できる場を設けるなど、教育・保育内容の相互理解を図った。</p> <p>◆各幼稚園・保育所（園）にて見学会を実施し、それぞれの施設や保育内容について周知する機会を設けた。また、子育てに不安がある保護者からの育児相談に対して個別に対応した。</p> <p>◆「幼保こ小の架け橋プログラム事業」の取り組みとして、架け橋プログラムに関する全体会を開催するとともに、連携体制を構築していくための会議を校区ごとに開催することで、各校区版の架け橋コンパス（カリキュラム表）の見直しや交流活動、合同研修等が計画的に実施されるようになってきている。なお、本事業が始まった当初は、就学前施設における公立と私立において取り組み姿勢に違いがあったが、3年間公立と私立で連携を図りながら、校区ごとの就学前施設同士の交流活動や架け橋コンパスの見直しの他、公私合同の研修などに取り組むことで、取り組み姿勢の違いは改善されつつある。</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への円滑な接続が重要であり、引き続き、授業見学や教員同士の連携の充実を図り、幼稚園児が進学後も安心して小学校生活を送れるよう取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議） ・小学校や保育園との連携が進んだ点は評価できる。今後とも、私立の就学前施設との連携を図りながら着実に事業を進めたいだきたい。（R5点検評価員会議） ・幼稚園等の就学前施設と小学校での合同の研修会や互いの授業視察などを通じて相互理解を深め、小学校へのスムーズな接続に向けて連携していることがうかがえる。（R6点検評価員会議） ・幼保こ小の「架け橋プログラム」などを通じた小学校へのスムーズな接続に向け、今後も公私の就学前施設と小学校が連携した取り組みを進めていただきたい。（R7点検評価員会議） 									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度						
	市長公約	令和6年度市政運営方針							
	実行計画	-	R6からR7の達成度の推移						
	関連計画	-							

5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	-----------------------	-----	-------------------

5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	------------------------------	-----	-------------------

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	63,185
-----	---------------------------	-----	----------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

幼稚園で預かり保育を実施し、児童の心身の健全な発達を促すとともに、児童教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として児童教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
（実績値の内容） 保護者のニーズ（申し込み）に対する児童教育教室及び預かり保育実施率	実績値〔A〕 (%)	98.30	98.60	98.70
（目標値の根拠） ニーズ（申し込み）に対する実施率100%	目標値〔B〕 (%)	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） 	達成度〔C〕 (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	98.30	98.60	98.70

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆就労支援の一環として、全ての公立幼稚園において幼稚園給食を実施した。
- ◆令和6年10月より、枚方幼稚園において預かり保育の定員拡充の試行実施を行った結果、幼稚園でのPTA会議の際など限られた状況において、35人を超える利用が見られる場合があった。引き続き、枚方幼稚園での利用状況を注視しながら、預かり保育の上限拡充について方向性を検討する。なお、令和7年9月の同幼稚園における預かり保育の平均利用実績は33.7人であった。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・定員拡充の試行実施を行うことだが、引き続き保護者ニーズに沿った利用しやすい事業への拡充に努めていただきたい。（R6点検評価員会議）
- ・定員拡充の試行実施を行った結果や保護者ニーズを踏まえ、より充実した事業展開となるよう検討されたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり		
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みの構築やコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の活性化に取り組みます。^①また、地域人材等も積極的に活用しながら、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析内容をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制、各学校の教育計画を各学校ブログに掲載するなど、学校の取り組みや校内での子どもの状況等の情報を積極的に公表していきます。^②また、学校と保護者との連絡体制については、共通アプリを使用した学校情報の発信や児童・生徒の出欠連絡など、デジタル技術を生かした利便性の高い連絡手段の確立に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める^①ことで、「チーム学校*」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	3,010
-----	-----------------	-----	-------	--------------------	------------	-------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

枚方市では保護者及び地域住民等からなる学校運営協議会を設置した学校を枚方市におけるコミュニティ・スクールと定義し、協議会の最大の目的を「校長の学校運営に対して必要な支援を行うこと」としている。地域全体で教育を実現する仕組みの構築をめざし「学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくこと」をねらいとした研修会等を定期的に開催し、枚方市におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組内容等の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした校長の割合	実績値 [A] (%) 95.45	95.45	年度末把握予定	
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 95.45 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	95.45	95.45	年度末算定予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

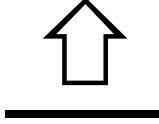
- ◆全44小学校において、年間3回以上の学校運営協議会を開催し、地域全体で協働した学校運営を推進した。また、各校において教員をコミュニティ・スクール担当者に指定し、学校の課題を地域と共有するとともに、コミュニティ・スクール担当者や学校管理職を対象に研修を継続して実施予定。
- ◆文科省主催「令和7年度コミュニティ・スクール関係課協議会」に参加し、他市町村との情報交換を行った。
- ◇学校運営協議会委員及び地域人材を対象にした研修の開催
- ◇学校運営協議会が設置されているが、学校の課題を地域ぐるみで解消したり、地域住民の教育活動への参画を促したりする学校支援活動の拡充手法を検討。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・コミュニティ・スクールについては、地域全体で協働して学校運営に取り組む体制が構築されていることが伺える。今後、子どもたちの学びを更に豊かにするために、コミュニティ・スクールなどによる「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要がある。全国的にもコミュニティ・スクールに関する取組みが推進されている中で、今後も、好事例校に着目したデータ分析も行なながら、地域の方々の力を活用した教育の充実を図っていただきたい。（R4点検評価員会議）
- ・今後は、学校や子どもたちへの支援にフォーカスをあてた取組みの充実を期待している。あわせて、新たな指標の検討もお願いしたい。（R5点検評価員会議）
- ・ブログやホームページを活用し、学校や子どもたちの様子を積極的に発信することで、地域や保護者等との協力関係構築に向け努力が払われている。今後も積極的な情報発信や地域との協働を進め、開かれた教育委員会、学校をめざして取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）
- ・指標の100%達成をめざし、好事例の共有など保護者や地域住民との協働が進むよう、地域の実情に応じた支援を進めていただきたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-		
	関連計画	-	R6からR7の達成度の推移	

主要事業の状況

6-②	教育委員会広報事務	担当課 教育政策課 教育研修課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	6,294			
				決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）								
児童・生徒、保護者、市民にとって必要な情報を適切に発信するため、学校の取り組みや子どもの状況のほか、教育委員会での取り組み等について、学校ブログやホームページを用いて積極的に公表するとともに、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげる。								
指標	R5年度	R6年度	R7年度					
(実績値の内容) 1か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）	実績値 [A] (件) 222,811	242,702	355,320 (9月末時点)					
(目標値の根拠) 前年度実績からの5%増（アクセス数を増加させることで、開かれた学校づくりを推進するもの）。	目標値 [B] (件) 201,600	233,952	254,837					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	110.52	103.74	139.43				
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）								
◆全小中学校から合計約17,400回のブログ投稿（※9月末現在） ◆学校ブログを活用し学校の日々の様子や教育活動の様子などの情報をよりタイムリーで分かりやすく発信をしている。								
これまでの点検評価員等からの主な意見								
・ブログ等を通じて学校の日々の様子が簡単に知ることができるようになることで、学校がより身近な存在になると考える。引き続き、子ども・地域・教職員の元気な様子が伝わる、ポジティブな情報発信の充実を期待する。（R5点検評価員会議） ・引き続きブログやホームページを活用した情報発信の充実を図る一方で、個人情報の漏洩を防止するなど、子どもたちの安全性の確保に十分留意されたい。（R7点検評価員会議）								
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度					
	市長公約	-						
	実行計画	-	R6からR7の達成度の推移					
	関連計画	-						

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じております。子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備、監視カメラの設置等による学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による、通学路も含めた安全対策の強化^②、不審者情報等緊急情報のSNS発信^③など、複合的な対応により安全で安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します。^③

必要な消耗品・備品等の配備など、新型コロナウイルス感染症等への対応を契機に見直した、状況に応じた安全対策を引き続き活用するとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るために実践力を育てます。

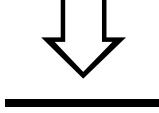
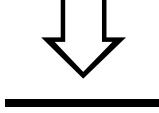
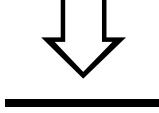
いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、平時より関係団体・家庭・地域が連携して、いじめを起こさない、いじめを許さない環境づくりを進める^④とともに、SNS相談の実施などによるいじめの早期発見、早期解決に取り組みます。また、市長部局に設置されたいじめ相談窓口との連携を図り、相談体制の整備を推進し、相談者等に寄り添った解決をめざします。さらに、いじめを受けた、いじめに関わった児童・生徒に対しては、各学校の心の教室相談員やスクールカウンセラーにより心のケアを図ります。^{④⑤⑥⑦⑧}

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努める^⑩とともに、「つながりなしをゼロに」をキーワードに、引き続き、児童・生徒の状況に合わせた居場所の拡充^⑩を図りながら、校内教育支援ルームや教育支援センター「ルポ」での学習支援、メタバース空間などを生かしたオンライン支援など、児童・生徒の社会的自立をめざした取り組みを進めます。^{⑦⑩}

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、「子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取り組みを進めていきます。^⑨

^⑩
—

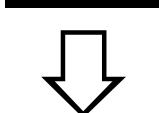
主要事業の状況

7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円）	予算額 ※人件費を除く 決算額	40,262																			
				事業概要（令和7年度の取り組み内容）																					
<p>・全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し、安全監視を実施する。</p> <p>・来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(実績値の内容) 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数</td> <td>実績値 [A] (件)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし</td> <td>目標値 [B] (件)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(めざすべき方向) </td> <td>達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> </tr> </tbody> </table>							指標	R5年度	R6年度	R7年度	(実績値の内容) 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数	実績値 [A] (件)	0	0	0	(目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし	目標値 [B] (件)	0	0	0	(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00
指標	R5年度	R6年度	R7年度																						
(実績値の内容) 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数	実績値 [A] (件)	0	0	0																					
(目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし	目標値 [B] (件)	0	0	0																					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00																					
<p>令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）</p> <p>◆児童の安全・安心な学習環境の確保のために、監視カメラやモニター機器の配置・修繕を、学校からの要望にできる限り応える形で取り組んでいる。</p> <p>◆来校者の多い時間帯や児童の登下校では、監視カメラ等の機器を活用するだけでなく、安全監視員を配置して人の目による監視を行っている。学期毎に全校の安全監視日誌を集め、不審者の侵入などがなかったかを確認することにより、令和7年9月30日時点で児童在校中の小学校への不審者侵入件数は0件となっており、子どもの安全を確保する環境を維持している。</p> <p>◇安全監視員について、地域の方々の協力により成り立っているが、現状、担い手不足の問題がある。</p>																									
<p>これまでの点検評価員等からの主な意見</p> <p>・事件等がなければ、達成度はずっと100%になる。例えば予定通りカメラの修繕を行えたかどうかなどを指標とすればいいのではないか。（R4点検評価員会議）</p>																									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移																					
	市長公約	-																							
	実行計画	-																							
	関連計画	-																							

7-②	通学路安全対策事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	27,778
-----	-----------	-----	----------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。
- ・「枚方市子ども交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、警察等と連携した通学路の安全保持を実施する。

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容)	交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する)	実績値 [A] (人)	60	60
(目標値の根拠)	前年度実績	目標値 [B] (人)	60	60
(めざすべき方向)		達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆小学校19校（31箇所）に60人の交通専従員・指導員を配置し、登下校の安全確認を図った。
- ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所の取りまとめを行った。今後は「枚方市子どもの交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携をしながら、危険箇所の解消を図っていくとともに、必要に応じて、道路管理者、教育委員会、警察署等による合同点検を実施する。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	16_07教育環境の充実		
	関連計画	-		

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	支援教育課	事業費（千円）	予算額 ※人件費を除く	4,424
				決算額		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。
- ・小中学校においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。
- ・いのちの大切さを学ぶ教育を在学中に受けられるように、全小学校の高学年を対象に小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。
- ・小学校において防災キャンプを実施する。
- ・学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 小中学校における交通安全教室の実施回数	実績値 [A] (校)	107	107
(目標値の根拠) 全中学校（19回）、小学校歩行交通安全教室（44校）自転車交通安全教室（44回）	目標値 [B] (校)	107	107
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆各学校において、危機管理マニュアルを見直した、実践的な避難訓練を実施。
- ◆小学校では、1年生を対象とした交通安全教室を36校で実施、3年生を対象とした自転車交通安全教室を26校で実施。
- ◆中学校では、1年生を対象に警察による自転車安全教室を17校で実施。
- ◆全小学校高学年を対象とした胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を33校で実施。
- ◆小学校防災キャンプを9月21日に牧野小学校で実施。令和8年1月に枚方第二小学校、3月に西牧野小学校でそれぞれ実施予定。
- ◆学校園から報告された不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を、メール配信システムを活用し、関係機関、保護者に提供している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

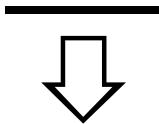
- ・小学校高学年対象の救急救命講習は重要であるので、継続してほしい。（R6点検評価員会議）
- ・子どもたち自らが危険を回避する能力を養えるよう、より実践的な防災訓練の実施を検討されたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-		R6からR7の達成度の推移
	関連計画	-		

7-④	生徒指導充実事業（枚方市 生徒指導体制充実事業）	担当課	教職員課 児童生徒課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	59,766
					決算額	

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、警察等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。
- ・生徒指導体制の構築と強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。
- ・各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
（実績値の内容） 中学校全体の暴力行為の発生件数 (参考指標1) ※（参1）と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数	実績値 [A] (件) 133 (参1) 123	80 (参1) 56	40 (1学期末時点) (参1) 48 (1学期末時点)
（目標値の根拠） 暴力行為発生件数が前年度より10%減少 (参考指標1) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少	目標値 [B] (件) 39 (参1) 105	120 (参1) 111	72 (参1) 50
（めざすべき方向） 	達成度 [C] (%) -141.03 (参1) 84.76 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	133.33 (参1) 149.55	144.44 (1学期末時点) (参1) 104.00 (1学期末時点)

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和7年度は中学校7校に市費負担任期付き教員を1人ずつ配置し、4校に非常勤講師を一人ずつ配置している。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。
- ◇実績値においては、1学期末時点においては達成することができた。各学校がすべての児童・生徒にとって安全・安心で、魅力ある学校となるように、一人ひとりに対して丁寧に対応している結果であると考える。一方で繰り返し暴力行為を起こした児童・生徒が一定数いることなどから、暴力行為の件数としてはやや増加傾向である。今後については、児童・生徒のアセスメントを深めていくことなどを通し、繰り返しの暴力を防ぐことと同時に、そもそも暴力行為に至ることのないように、日ごろの教育活動の中から児童・生徒の自己肯定感や自己有用感等を高める発達支持的生徒指導を推進していく必要がある。

加配講師（任期付講師）配置校

令和7年度 第一中、第三中、第四中、津田中、中宮中、杉中、桜丘中

※（非常勤講師）第二中、楠葉中、楠葉西中、山田中

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・生徒指導充実事業については、中学校での暴力行為の増加は問題と考える。コロナ禍での生徒のストレス増加も原因の1つかも知れないが、詳細な分析と対策が必要である。また、近年の傾向から、小学校での暴力行為についても、今後、注視していくべきである。（R4点検評価員会議）
- ・小学校の暴力件数が年々増加し、中学校の暴力件数を超える状況である。今後も子どもたちの様子を見守りながら、対応方法の分析をお願いしたい。（R5点検評価員会議）
- ・全国的にも暴力行為が増えており、枚方市の状況の正確な把握と原因分析を進め、事後の指導だけではなく、未然防止にも重点を置いた対応を検討いただきたい。（R6点検評価員会議）
- ・発達支持的生徒指導の考え方に基づくクラスづくりが、問題行動を未然に防ぐ基盤となる。今後も研修や周知などを通して指導・助言を行い、問題行動の未然防止に努めていただきたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年所信表明 令和6年度市政運営方針		
	実行計画	-		R6からR7の 達成度の推移
	関連計画	-		

7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円）	予算額 ※人件費を含む 決算額	31,728
				※人件費を含む		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・枚方市学校いじめ対策審議会を年10回程度、事案に応じて開催する。
- ・いじめ問題防止啓発資料「ストップ！いじめ」を枚方市立小中学校の児童・生徒が貸与されているタブレットに配信。（アイコンをタップするだけで開くようにしている）
- ・児童生徒課にいじめ対応として、弁護士、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置している。また、学校がいじめの未然防止、早期発見・早期対応、事後の迅速かつ適切な対応が行えるよう、指導助言する。
- ・人権政策課のいじめ対策グループと連携して学校のいじめ対策の強化を図るため、月1回連携会議を開催している。
- ・重大事態については、第三者機関として重大事態調査委員会を設置している。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率（解消件数/認知件数）	実績値 [A] (%) 小 99.77 【3,402/3,410】 中 98.74 【939/951】	小 99.61 【3,087/3,099】 中 98.89 【896/906】	小 4.36 【59/1,351】 中 9.49 【47/495】 (令和7年7月末時点)
(目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	小 99.77 中 98.74	小 99.61 中 98.89

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆「枚方市学校いじめ対策審議会」は、4月、5月、6月、7月、9月に開催した。次回は10月に開催予定である。
- ◆いじめ問題防止の啓発のための「ストップ！いじめ」を1人1台端末に配信している。
- ◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、疑いの段階からいじめを認知し、聴取等早期の対応に努めており、児童・生徒にいじめ理解教育を行うことで、いじめの未然防止に取り組んでいる。
- ◆生起したいじめ事案については、学校から、毎月、いじめの態様等の報告を受けており、重大事態につながりそうな案件については、学校に対応の確認等を行っている。
- ◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け取り組んでいる。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・令和3年度においては、目標値である100%に近い解消率を示しており、また、事務局によると、年度末時点では、前年度比で約10%解消率が高くなったとのことである。いじめは起こらないことが第一であるが、残念ながら発生した場合には、引き続き早期解決に努めていただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和5年度所信表明 令和6年度市政運営方針 令和7年度市政運営方針		
	実行計画	16_05_いじめの未然防止・早期発見		
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円）	予算額 ※人件費を除く	990
				決算額		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

枚方市立学校園で生起した緊急の課題に対し、幼児・児童・生徒・保護者及び教職員等の心のケア、教職員等に対して助言等を行うため、専門的な知識・経験を有する者を派遣する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 (派遣件数/派遣要請件数)	実績値 [A] (%) 100.00(16/16)	100.00(15/15)	100.00(1/1)
(目標値の根拠) 派遣要請に対して、実際に派遣した割合	目標値 [B] (%) 100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 100.00 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆スクールアドバイザーを派遣した回数：1回
- ◆派遣した学校…第四中（1回）
- ◆「教職員が生徒対応時に配慮すべきことを確認し、安心できた。」「教室を巡回してもらい、気になる生徒をあげてもらえ、対応できた。」「直接、教職員・生徒と話をしてもらい、落ち着くことができた。」という評価を学校から受けた。

◇緊急派遣のため、派遣終了後の長期的な見守りや支援へ繋げていくことが課題である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

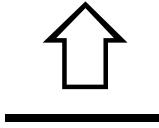
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	-		
	関連計画	-		

7-⑦	教育相談事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	11,089			
					決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<p>●子どもの笑顔守るコール（いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン） 幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。（平日 9:00～17:00）</p> <p>●継続教育相談 幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。（要予約 月～金）</p>									
指標	R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容) 電話、来館による年間相談延べ件数（子どもの笑顔守るコール、教育文化センター内の継続教育相談、教育文化センター内のメンタルヘルス相談の延べ件数）（教職員課へ移管のためR6年度よりメンタルヘルス相談件数除く）	実績値 [A] (件)	1,972	1,689	829					
(目標値の根拠) (R5年度) 子どもの笑顔守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績 (R6年度以降) 子どもの笑顔守るコール、継続教育相談の延べ件数の前年度実績	目標値 [B] (件)	2,009	1,922	1,689					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	98.16	87.88	49.08					
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆「子どもの笑顔守るコール」（「いじめ専用ホットライン」と「教育安心ホットライン」）では、幼児・児童・生徒が抱える諸問題の解決や早期発見、早期対応を図るため、心理士等の専門家が電話による教育相談を行っている。</p> <p>◆「いじめ専用ホットライン」は9件、「教育安心ホットライン」は91件、「継続教育相談」は729件の相談を受けている。（9月末時点）</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
<p>・これまで相談件数が少なかった教職員のメンタルヘルス相談件数が、積極的な周知により増えたことは評価するが、働き方改革の視点も含めて教職員の負担軽減を進め、児童生徒と関わる時間の確保に努めていただきたい。（R6点検評価員会議）</p>									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度						
	市長公約	-							
	実行計画	-			R6からR7の達成度の推移				
	関連計画	-							

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	8,385
-----	---------------	-----	-------	--------------------	------------	-------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

小学校における不登校や問題行動など、生徒指導上の諸課題の解決のため、児童・保護者の相談活動及び教職員に対して専門的な見地から助言を行うなど、小学校の相談体制を充実させるため「心の教室相談員」を配置する。

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 心の教室相談員の年間総配置回数	実績値 [A] (回)	1,621	1,626	697
(目標値の根拠) 小学校1校あたりの平均配置回数を37回	目標値 [B] (回)	1,628	1,628	1,628
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	99.57	99.88	41.70

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆心の教室相談員の配置回数：697回
- ◆1回の活動時間は4時間。年間35回を年度初めに配当し、後期に学校から希望をとり、平均2回の追加配当を行う。（1月初旬）
- ◆学校によっては年度初めや夏休み明けに回数を増やしたり、工夫して運用を行っている。残回数については毎月確認を行っているため、計画的な運用ができている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	-		
	関連計画	-		

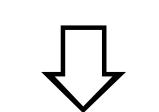
7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーカー事業	担当課 まるっとこどもセンター	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 102,290			
				決算額			
事業概要（令和7年度の取り組み内容）							
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを、19か所の拠点校に配置予定 配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助 小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 学校と関係機関等との連携のコーディネート スクールカウンセラーとの連携 小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 拠点校以外の学校への訪問による、児童・生徒の見立てやプランニング等。 各種研修会、連絡会等への参加 SSWに対し、法律、福祉、心理、教育の専門的見地から指導助言を実施する、スーパーバイザー（SV）の設置 相談支援体制拡充のためのSSWの増員 							
指標		R5年度	R6年度	R7年度			
(実績値の内容) スクールソーシャルワーカー等の活動回数	実績値 [A] (回)	1,335	2,096	1,217			
(目標値の根拠) 【R5年度】 144回 (SSW1人×週3日×48週) 1152回 (SSW6人×週4日×48週) 【R6年度】 288回 (SSW2人×週3日×48週) 1,920回 (SSW10人×週4日×48週) 【R7年度】 288回 (SSW2人×週3日×48週) 2304回 (SSW12人×週4日×48週)	目標値 [B] (回)	1,296	2,208	2,592			
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	103.01	94.93	46.95			
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）							
◆拠点校の管理職やSSW担当教諭が出席する連絡会を2回実施。 ◇SSWが全中学校区に配置されていないため、拠点校以外の担当校からの派遣要請への対応が課題。							
これまでの点検評価員等からの主な意見							

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	15_04子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくり		
	関連計画	-	R6からR7の達成度の推移	

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	81,421
-----	--------------	-----	-------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対しては、全校に配置した教育支援ルーム支援員により教育相談や学習支援など適切な支援を行う。
 - ・枚方市教育支援ルーム指導員連絡会を開催し情報交換を図る。
 - ・1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるよう図る。
 - ・枚方市教育支援センターと校内教育支援ルームの連携を図り、オンラインでのプログラム配信やメタバース空間を活用した支援等を行う。
- 枚方市教育支援センター入室児童・生徒
学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。
- ・訪問指導：学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 年間30日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数の割合 【計算式】学校内外の施設につながっていない不登校児童・生徒数（年間30日以上）÷年間30日以上の不登校児童・生徒数 令和6年度より年間90日以上→年間30日以上に変更。実績値、目標値、達成度修正 【□内の数値】年間30日以上の不登校児童・生徒の数（令和6年度分は9月末日時点の数）	実績値 [A] (%)	中 48.82 小 39.37 〔 中：680 小：442 〕	中 37.63 小 36.95 〔 中：675 小：452 〕	中 35.65 小 20.69 〔 中：331 小：145 〕
(目標値の根拠) 【中学校】毎年、各校1人ずつ減少する 【小学校】毎年、3分の1の学校（15校）1人ずつ減少する	目標値 [B] (%)	中 54.56 小 45.59	中 47.35 小 37.24	中 35.82 小 34.78
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = [B + (B - A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)	中 110.52 小 113.64	中 120.53 小 100.78	中 100.47 小 140.51

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆教育支援センター「ルポ」を利用している児童・生徒の活動の様子について、Google Classroomを通して週に1度、学級担任等との連絡を取るなどの連携強化を行っている。
 - ◆枚方市教育支援センターと校内教育支援ルームの連携として、Google Classroomを活用し、教育支援センター「ルポ」で実施しているプログラムをオンラインで配信している。
 - ◆教育支援センター「ルポ」において、MinecraftEducationを使った自宅からも参加できるオンライン支援を実施したり、民間施設を活用したeスポーツに触れる体験を実施している（社会とのつながりを意識）。
 - ◆オンラインで不登校支援担当者等の交流会を実施し、校内教育支援ルームについて情報共有の機会を持った。
 - ◆ブログを活用し、教育支援センター「ルポ」の活動を積極的に発信している。
- ◇教育支援センター「ルポ」の登録者は9月末で65名。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・令和3年度においては、大阪府下では不登校児童数は前年度から横ばいであるが、枚方市は増加傾向にあり課題と考える。原因分析を行ったうえで、例えば地域の力を活用して、問題解決につなげる実践などを研究していただきたい。（R4点検評価員会議）
- ・枚方市における不登校の児童・生徒の数は、年々増加している。児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、不登校になってしまった児童・生徒が社会に取り残されることがないよう、地域や関係機関との連携も含め、児童・生徒が常にどこかとつながっている状況をつくっていただきたい。（R5・R6点検評価員会議）
- ・不登校児童・生徒数が全国的に増加傾向にある中、枚方市立小・中学校における増加率や新規発生件数の鈍化はこれまでの取り組みの成果であり、評価できる。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明 令和6年度・7年度市政運営方針		
	実行計画	16_06不登校対策の強化	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

学校施設のバリアフリー化については、「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づき、各校へのエレベーター整備などを進めます。^①また、令和6年度末に策定する「枚方市学校整備計画（第2期実施計画）」に基づき、学校施設の長寿命化の推進やトータルコストの縮減を図るため、計画的な保全改修に取り組むとともに、施設の省エネルギー化を推進するため、教室等の空調更新に加えて、照明設備のLED化によるZEB化に取り組むなど、良好な学習環境の整備を進めます。^①

空調設備については、新たに学校体育館に整備した空調設備の効率的な維持管理を行うとともに、教室等の空調設備の更新等に向けて、より効果的・効率的な維持管理・更新に取り組みます。^②

学校規模等適正化に関しては、公共施設全体の適正配置のあり方を示す公共施設マネジメント推進計画の改訂等と整合を図りながら検討を行います。さらに、現状の学校施設の有効活用についても検討を行います。^③引き続き、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や、個に応じた家庭学習の充実を実現するため、1人1台端末や周辺機器等の整備・更新に取り組みます。^④教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

また、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し情報の一元管理や通知表や指導要録等の事務処理を軽減するとともに、今後もより効果的・効率的な学校運営に向けた業務の見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。また、個人情報等を含むデータをサーバにより管理し、枚方市立学校情報セキュリティポリシーに基づいた運用を徹底することで、データの機密性、完全性、可用性を担保し、学校内の情報セキュリティのさらなる向上を図ります。^⑤

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な整備に向けた検討を進めます。

主要事業の状況

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設計画課・施設整備課・施設管理課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	2,129,901 (内R6から繰越1,576,811)				
					決算額					
事業概要（令和7年度の取り組み内容）										
<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。 「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」に基づき、5校の実施設計と6校の工事を進める。 直営作業による小中学校のグラウンド改修を行う。 「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、学校施設のZEB化の達成に向け、CO2削減効果の高い照明設備のLED化を行う。 										
※学校トイレのドライ化、洋式トイレへの改修、バリアフリートイレの整備は令和5年度に完了										
指標			R5年度	R6年度	R7年度					
(実績値の内容) 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新した割合 【参考指標】 R5年度については、枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所（系列）数		実績値 [A] (%) 【参】(件)	61.6 【参】35	64.10	64.10					
(目標値の根拠) 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新する割合 【参考指標】 R5年度については、枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所（系列）数		目標値 [B] (%) 【参】(件)	61.6 【参】35	64.10 【参】令和5年度までに計画数達成のため設定なし	68.8 【参】令和5年度までに計画数達成のため設定なし					
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	93.17					
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）										
◆ 「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事30件（エレベーター設置、LED化を含む）の内、8件の工事を完了している。 ◆ エレベーター設置については「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」に基づいた6校の設置工事の内、3校の工事を完了している。 ◆ LED化については計画通り進んでおり、今年度は4件工事発注し、全て契約を締結している。 ◆ 直営作業によるグラウンド改修については、10月からの作業着手に向けて建設機械等の賃貸借契約手続を実施している。										
これまでの点検評価員等からの主な意見										
• 学校トイレのドライ化と洋式化、及び多目的バリアフリートイレの整備を計画的に推進している。（R4点検評価員会議）										
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度					
	市長公約	令和5年度所信表明、令和6年度・7年度市政運営方針								
	実行計画	16_07教育環境の充実			R6からR7の達成度の推移					
	関連計画	枚方市学校整備計画、枚方市地球温暖化対策実行計画								

主要事業の状況

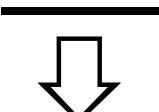
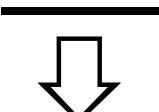
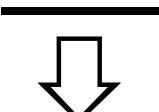
8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設計画課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	1,559,265 (内R5から繰越1,285,104)				
					決算額					
事業概要（令和7年度の取り組み内容）										
<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の教室等の空調設備の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 小中学校体育館63棟の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 令和7年度から令和9年度に教室等を対象に約1800室の空調設備を更新する。 教室等の空調設備更新において令和7年度に更新対象となる空調設備の維持管理については、更新する事業者にて実施する。 										
指標	R5年度	R6年度	R7年度							
（実績値の内容） 空調設備の維持管理室数に対しての実施室数	実績値〔A〕 (室)	2,504	2,582	2,582						
（目標値の根拠） 小中学校における空調設備の維持管理室数	目標値〔B〕 (室)	2,504	2,582	2,582						
（めざすべき方向） 	達成度〔C〕 (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00						
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）										
◆小中学校の教室等及び体育館の空調設備の維持管理を適切に実施している。 ◆小中学校の教室等の空調設備の更新については、令和7年3月に事業者と契約を締結し更新を進めている。令和7年度については約270室の空調設備を更新し、引渡し後、維持管理を実施する。										
これまでの点検評価員等からの主な意見										
• 学校体育館を含めた空調整備が計画的に進められている。ともに、時代の変化に沿った先進的な取り組みであると評価できる。 (R4点検評価員会議)										
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度						
	市長公約	令和6年度市政運営方針								
	実行計画	16_07教育環境の充実								
	関連計画	枚方市学校整備計画			R6からR7の 達成度の推移					

主要事業の状況

8-③	学校規模等適正化事業	担当課 新しい学校推進課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 2,784,854 (内R6から繰越238,054)			
				決算額			
事業概要（令和7年度の取り組み内容）							
<p>・「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」に基づき、小規模校及び大規模校並びに過密校について、学校統合や通学区域の変更、増築等により、学校規模等の適正化に向けた取り組みを進める。</p> <p>なお、取り組みにあたっては、令和9年度に改訂を予定している「公共施設マネジメント推進計画」で示される将来ビジョンを踏まえた公共施設の適正配置の方針と整合を図りながら検討を進めることとしており、令和7年度については、将来の児童生徒数の減少に伴い、学校統合も困難な学校が出てくることを見据えた取り組みとして、小規模校における余裕教室を利用する等、施設の複合化による有効活用の手法について検証を進める。</p> <p>・「枚方市学校規模等適正化基本方針【改訂版】」に基づき、旧高陵小学校と旧中宮北小学校を統合して誕生した禁野小学校の新校舎整備事業については、「設計施工一括デザインビル（DB）方式」で実施しており、令和7年度は、令和6年度7月から着工している建設工事を令和8年度7月の完成に向けて着実に進める。</p>							
指標	R5年度	R6年度	R7年度				
（実績値の内容） 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校、または、学校施設の有効活用に取り組んだ学校数	実績値〔A〕 (校) 1	1	0				
（目標値の根拠） 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校、または、学校施設の有効活用に取り組んだ学校数	目標値〔B〕 (校) 1	1	1				
（めざすべき方向） 	達成度〔C〕 (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	0.00			
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）							
<p>◆小規模校における余裕教室の有効活用の方策について、小規模校の小学校と協議を行った。</p> <p>◇小規模校における余裕教室の有効活用にあたっては、引き続き、学校や保護者、地域との意見交換を重ねながら、その方策を検討していく必要がある。</p> <p>◆禁野小学校の新校舎整備事業については、「設計施工一括デザインビル（DB）方式」で実施しており、令和7年度は、令和6年度7月から着工している建設工事を引き続き進めている。【施設整備課】</p> <p>◇令和7年4月に事業者より労務単価や資材の高騰による2回目のインフレスライドの請求があり協議をしている。【施設整備課】</p>							
これまでの点検評価員等からの主な意見							
<p>・これまで、学校統合のほか大規模校での校舎の増築や過密校対策として通学区域変更など、学校規模適正化の取り組みを適宜行ってこられたことは評価できる。今後は長期的な人口減少も見据え、学校のあり方だけではなく、地域づくりやまちづくりといった視点をもった公共施設全体の運用と整合を図りながら検討することであり、このことが将来にわたる良好な教育環境の維持につながることを期待する。（R6点検評価員会議）</p>							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度				
	市長公約	-					
	実行計画	16_07教育環境の充実	R6からR7の達成度の推移				
	関連計画	-					

8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育研修課
-----	---------------------------	-----	-------

主要事業の状況

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	22,962																							
事業概要（令和7年度の取り組み内容）																													
<p>・現行の校務支援システム（平成27年度導入・令和3年度更新）では、学校における児童・生徒の情報を自前のサーバで一元管理し、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図っている。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。</p> <p>・一方で、国が提唱する次世代の校務DXに伴い学習系・校務系ネットワークの統合と校務支援システムのクラウド化を進める必要があり、これらシステム更新に向けた計画を作成するとともに関係課でクラウド版校務支援システムの調査研究を進める。</p> <p>・全中学校に採点支援システムを導入して、教職員の採点業務（採点、集計、転記）の効率化を図るとともに、分析機能を活用して生徒の弱点を把握し、個別最適な学びの充実につなげる。また、採点から成績処理の負担を軽減する。</p> <p>・校務での生成AIの活用について実証及び検討を進め市内小中学校間で好事例を情報共有し事務の効率化を図り校務の負担軽減につなげる。</p>																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2e0aa; text-align: left;">指標</th> <th style="background-color: #f2e0aa;"></th> <th style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">R5年度</th> <th style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">R6年度</th> <th style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">R7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #f2e0aa;">(実績値の内容)</td><td style="background-color: #f2e0aa;"></td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">実績値 [A] (分)</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">53.40</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">56.40</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">(3月末実施)</td></tr> <tr> <td style="background-color: #f2e0aa;">(目標値の根拠)</td><td style="background-color: #f2e0aa;"></td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">目標値 [B] (分)</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">90.00</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">90.00</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">90.00</td></tr> <tr> <td style="background-color: #f2e0aa;">(めざすべき方向)</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">140.67</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">137.33</td><td style="background-color: #f2e0aa; text-align: center;">(3月末実施)</td></tr> </tbody> </table>							指標		R5年度	R6年度	R7年度	(実績値の内容)		実績値 [A] (分)	53.40	56.40	(3月末実施)	(目標値の根拠)		目標値 [B] (分)	90.00	90.00	90.00	(めざすべき方向)		達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	140.67	137.33	(3月末実施)
指標		R5年度	R6年度	R7年度																									
(実績値の内容)		実績値 [A] (分)	53.40	56.40	(3月末実施)																								
(目標値の根拠)		目標値 [B] (分)	90.00	90.00	90.00																								
(めざすべき方向)		達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	140.67	137.33	(3月末実施)																								
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）																													
<p>◆校務での生成AI活用集を小中学校へ電子媒体にて共有した。</p> <p>◇校務支援システムの更新</p> <p>現行システムは令和7年度末に契約終了するため、次期システムは、導入を1年後ろに伸ばし、令和10年度稼働をめざしパブリッククラウド上で運用できるシステムを前提とし、国の動向を注視し共同調達の仕組みを活用して円滑に更新できるよう、現行システムのリース延長やデータ移行を含め計画していく必要がある。</p> <p>◇校務DXの推進</p> <p>国が示す「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づき、教職員の働きやすさと教育活動の更なる高度化をめざし、業務のデジタル化と校務DX環境の整備を行っていく。</p>																													
これまでの点検評価員等からの主な意見																													
<p>・校務において生成AI活用を実証し、その成果を共有するなどの先進的な取り組みは他市の模範となる。今後も継続して取り組みを進められたい。（R7点検評価員会議）</p>																													
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度																								
	市長公約	令和5年度所信表明																											
	実行計画	-			R6からR7の達成度の推移																								
	関連計画	-																											

8-⑥	小学校給食充実事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	おいしい給食課
-----	------------------------	-----	---------

基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。こうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

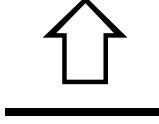
それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます。^{①②}

図書館においては、令和3年に策定した「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」に基づき、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たすことで、誰もが読書に親しむことができる環境を整え、市民の学びを支えます。^{③④⑤⑥⑦⑧}また、いつでもどこでも図書に親しむことができる市民サービスとして開始した「電子図書館」についても、さらなる利用促進に努めます。^⑨

また、ICタグシステムの導入拡大や予約図書受取ロッカーの配置により、待たない貸出手続きや24時間いつでも借りられる環境を整え、誰もが利用しやすい快適な図書館サービスの提供を広げていきます。^⑦

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館への支援・連携強化、学校司書の育成・支援など、学校教育と連携を図ることにより、生涯にわたる読書習慣を養えるよう子どもの読書活動を推進します。^⑩

主要事業の状況

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 6,590			
					決算額			
事業概要（令和7年度の取り組み内容）								
<p>「人生100年時代」においては、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。</p> <p>社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</p> <p>家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。</p> <p>社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことによる支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。</p>								
指標	R5年度	R6年度	R7年度					
(実績値の内容) 社会教育活動推進事業への延べ参加者数	実績値 [A] (人) 3,686		3,543		1,927			
(目標値の根拠) 新型コロナウイルス感染症の感染状況の動向が不透明であるものの、令和2年度に落ち込んだ実績を毎年730人ずつ増加させ、令和5年度までの3年間でこれまでの目標値を達成する。 【令和2年度までの目標値】「よみかき」等については平成27年度から令和元年度までの延べ参加者数の平均、その他の事業については募集人数の80%	目標値 [B] (人) 4,130		4,130		4,130			
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	89.25	85.79		46.66			
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）								
<p>◆社会教育基礎講座は「老いに備える」をテーマとして、「将来のための相続準備～家族のために考えよう～」（35人参加）、「エンディングノートの書き方講座～最期の想いを1冊に～」（35人参加）、オンライン講座「加齢にともなう誤嚥のリスク～食事場面のポイントや対策について～」（127回再生）を開催した。また、家庭教育支援事業として、「親子で作ろう！ペットボトル地震計」（14組30人参加）を開催した。また、社会教育人権講座として、「高齢者虐待を防ぐ～わたしたちができるを考える」（18人参加）を開催した。また、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」は、延べ1,054人の学習者が参加した。</p> <p>◇市民にニーズのある事業のテーマ設定や、開催日時・開催手法の設定、周知方法について課題があるため、これまでの講座アンケート結果や、社会教育委員からのご意見も参照しながら、目標の達成に向け改善を図る。</p>								
これまでの点検評価員等からの主な意見								
<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズを踏まえた講座を実施されており、参加者数が増加していることは評価できる。今後は、より多くの市民が講座に参加できるよう、オンライン講座の開催についても検討いただきたい。（R5点検評価員会議） 大学が行う社会貢献活動とも連携を図るなど、今後も魅力ある講座の検討や講師の確保を期待したい。（R7点検評価員会議） 								
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度					
	市長公約	-						
	実行計画	-		R6からR7の達成度の推移				
	関連計画	-						

主要事業の状況

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	25,284
-----	--------	-----	---------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

●生涯学習事業の推進

他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。

●生涯学習施設の運営

生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。

●枚方市生涯学習推進審議会運営事務

市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。

●枚方市美術推進委員協議会運営事務

年3回協議会を開催し、御殿山生涯学習美術センター及び総合文化芸術センター美術ギャラリーにおける企画展及び公募展の企画運営等、美術事業の推進に関することについて、専門的な立場から意見をいただく。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」「普通」と回答した設問数／総設問数) ※総設問数＝アンケート回答者数×設問数	実績値 [A] (%) 43.48 (1851/4257)	44.15 (2583/5850)	年度末に集計予定
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」「普通」と回答した設問数が80%	目標値 [B] (%) 80.00	80.00	80.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 54.35 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	55.19	年度末に集計予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

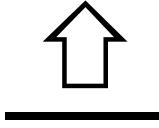
- ◆生涯学習市民センター等で、講演会、講習会、映画会、コンサートなどをひらき、市民が自分からすんで学習できる機会を提供するとともに、地域の特色を活かした生涯学習事業や交流の促進を行うため、市民と連携した活動員会による事業を開催している。
- ◆人形劇関連事業や市民主体の実行委員会形式で生涯学習市民センター祭を開催するなど、学んだことを活用できる場の提供をおこなっている。
- ◆市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、枚方市生涯学習推進審議会を令和8年2月に開催予定。
- ◆市民・店・会社・大学・地域のつながりを支える取り組みとして、「職員による出前講座」、市内5大学との連携・協力による「市民大学講座」「子ども大学探検隊」などを実施している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・満足度が半数にも満たない状況を踏まえ、現状に甘んじることなく好事例を参考とするなど、市民ニーズ・満足度の向上を意識した事業展開に努められたい。（R6点検評価員会議）
- ・大学が行う社会貢献活動とも連携を図るなど、今後も魅力ある講座の検討や講師の確保を期待したい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	17_01生涯学習の推進		
	関連計画	-	R6からR7の達成度の推移	

主要事業の状況

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費（千円）	予算額 ※人件費を除く 決算額	84,874					
				※人件費を除く 決算額							
事業概要（令和7年度の取り組み内容）											
<p>基本的な蔵書構成を維持しながら市民の多様なニーズに応えるため、雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くバランスを意識し、あらゆる分野にわたり、正確で新しい情報を提供できるよう計画的に資料を購入する。また、貸出頻度の高い児童書のロングセラーや、情報が古く更新が必要な図書の買い替えを積極的に進め、蔵書のリフレッシュを昨年度に引き続き行う。なお、選書に際しては、より効果的に利用につながるよう、ICタグシステム導入後の蔵書分類ごとの利用状況をエビデンスにするなど留意する。</p>											
指標			R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容)											
市民一人あたりの貸出冊数	実績値 [A] (冊)		9.86	10.48	4.35						
(目標値の根拠)											
直近3か年の平均値	目標値 [B] (冊)		8.68	9.73	10.00						
(めざすべき方向)											
	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)		113.59	107.71	43.50						
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）											
<p>◆選書に際しては、蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した。また、利用が多く劣化した本や情報の古い分野の蔵書の一部を更新した。</p> <p>◆図書館の蔵書となる図書を児童書6,227冊、一般書11,366冊、合計17,593冊購入した。</p> <p>◇利用統計を参考にした選書。</p>											
これまでの点検評価員等からの主な意見											
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		達成度							
	市長公約	令和7年度市政運営方針									
	実行計画	17_02図書館運営・機能の充実		R6からR7の達成度の推移							
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン									

主要事業の状況

9-④	図書館等巡回事業	担当課	中央図書館	事業費（千円）	予算額 決算額	15,466
				※人件費を除く		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を業務委託により実施する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 分館・分室の巡回日数	実績値 [A] (件)	501	499	256
(目標値の根拠) 年度当初に予定していた年間巡回日数	目標値 [B] (件)	501	499	448
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	57.14

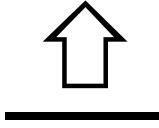
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆図書館業務に必要不可欠な図書館資料の配達のため、適切な巡回業務に努めた。
- ◆中央図書館と各分館・分室間を巡回する図書館資料の運搬を委託により計画的に実施した。
- ◆物量の増加が見込まれる市駅前図書館への巡回回数を多めにするなど巡回ルートを設定し、より迅速に予約図書を利用者へ渡すことができるよう対応を図った。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	-		
	関連計画	-		

主要事業の状況

9-⑤	中央図書館管理運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	73,284			
					決算額				
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<ul style="list-style-type: none"> 図書館政策の企画・立案・周知等を行う。 幅広い分野と難易度の図書館資料を所蔵し、各図書館・分室、自動車文庫における貸出を支援するとともに、他自治体の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの拠点館として各種図書館サービスを行う。 ICタグシステム導入を機に、読書相談業務や蔵書管理業務などの充実を図る。 									
指標	R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容) 中央図書館の貸出冊数	実績値 [A] (冊)	722,554	703,765	290,490					
(目標値の根拠) 直近3か年の平均値	目標値 [B] (冊)	661,718	736,219	715,942					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	109.19	95.59	40.57					
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆開館日数：152日 貸出冊数（個人）：290,490冊 予約受付件数（個人）：30,820件 延べ利用者数：82,538人</p> <p>◆引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。 ◆積極的にレファレンス（読書相談）や様々なイベントなど、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討・実施している。 ◇ICタグシステムを導入したことによる貸出の自動化により、創出された時間を活用し、魅力的な棚づくり、レファレンス、読書相談等の専門的なサービスのさらなる充実を図っていく。</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度						
	市長公約	-							
	実行計画	17_02図書館運営・機能の充実	R6からR7の達成度の推移						
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン							

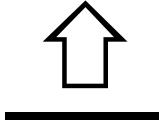
主要事業の状況

9-⑥	図書館分館 <u>管理</u> 運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円）	予算額 決算額	442,542
				※人件費を除く		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス、各種行事等を行う。

令和6年9月には新しい分館としてICタグシステム導入の市駅前図書館を開館した。令和7年度は市駅前図書館以外の7分館にもICタグシステムを導入していく。中央図書館は日常的に分館との連携を図るとともに、モニタリングなどを通じて、指定管理者による分館の管理・運営の充実を推進する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 全分館の貸出冊数	実績値 [A] (冊)	2,635,567	2,972,430	1,227,669
(目標値の根拠) 直近3か年の平均値	目標値 [B] (冊)	2,301,248	2,598,502	2,727,105
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	114.53	114.39	45.02

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆開館日数 1381日／8館（1館平均約173日）

貸出冊数（個人）：1,227,669冊／8館

予約受付件数（個人）：378,509件／8館

延べ利用者数：40,3254人／8館

◆9月に楠葉・菅原・牧野・津田図書館にICタグシステムを導入したほか、利用者自身が自動貸出機で予約資料を借り受けられる予約図書受取コーナーを設置した。令和7年度中に香里ヶ丘、蹉跎、御殿山図書館にも導入予定。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・来年度にオープンする市駅前図書館については、指定管理者が運営される。蔵書規模は大きくないが、市駅前ということで、市民の皆さんはそのオープンをたいへん楽しみにしておられる。司書の皆さんのが専門的なノウハウを活かして選定した魅力的な蔵書に加え、ICタグシステムや予約図書受取ロッカーをはじめとした、これまで本市では提供してこなかった新たなサービスの提供と、指定管理者による専門的なサービスにより、枚方市の顔である枚方市駅直結の図書館にふさわしい、魅力ある図書館にしていただきたいと要望する。（議会）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和7年度市政運営方針		
	実行計画	17_02図書館運営・機能の充実		
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン	R6からR7の達成度の推移	

主要事業の状況

9-⑦	図書館オンラインシステム 運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	164,576
					決算額	

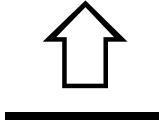
事業概要（令和7年度の取り組み内容）

図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。

令和6年度に中央図書館と市駅前図書館にICタグシステム・自動貸出機・予約図書受取コーナー（中央図書館のみ）を導入し「待たない」貸出手続きを導入するとともに枚方市駅構内に予約図書受取ロッカーを設置した。

令和7年度には、市駅前図書館以外の7分館にICタグシステムを導入し、自動貸出を行うことに加え、予約本をセルフで取り出せる「予約図書受取コーナー」を設置する。

また、読書履歴記録用冊子「ひらかたブックダイアリー」をすべての分室にも導入を行い、インターネット上で利用者が自らの読書履歴を蓄積していくことが可能な「My本棚」とあわせて、読書意欲の喚起につながるよう取組む。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
（実績値の内容） 図書館HPアクセス件数	実績値 [A] (件) 1,496,780	1,648,827	814,701
（目標値の根拠） 直近3年間の実績値の平均	目標値 [B] (件) 1,348,364	1,482,875	1,572,804
（めざすべき方向） 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	111.01	111.19 51.80

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

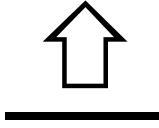
- ◆分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を継続して行っている。
- ◆9月に楠葉・菅原・牧野・津田図書館にICタグシステムの導入、予約図書受取コーナーの設置を行い、図書館の職員を介さずに入利用者の操作のみで完結する自動貸出機を導入することで「待たない」貸出手続きを実現し、利用者の利便性の向上を図った。令和7年度中に香里ヶ丘、蹉跎、御殿山図書館にも導入予定。
- ◆利用者が自身の読書履歴を記帳できる通帳型冊子「ひらかたブックダイアリー」の配布・販売、及び印字機を分室に設置し、10月から運用を開始した。これをもって全館への設置が完了した。

これまでの点検評価員等からの主な意見

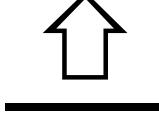
- ・市立図書館へのICタグシステムは、効率化につながるが、貸出データなどを蔵書購入の際にも活用していくのか、蔵書計画との整合性は？（議会）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和7年度市政運営方針		
	実行計画	17_02図書館運営・機能の充実		
	関連計画	-	R6からR7の達成度の推移	

主要事業の状況

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	958			
事業概要（令和7年度の取り組み内容）									
<p>・障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸し出し、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。</p> <p>・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）に基づき、視覚障害者等に対して、拡大読書機、ルーペ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、デイジープレイヤー等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、支援を行うとともに、様々な読書手段を紹介する。</p> <p>・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。</p>									
指標	R5年度	R6年度	R7年度						
(実績値の内容) 点字・録音図書貸出タイトル数	実績値 [A] (タイトル)	2,708	2,687	1,392					
(目標値の根拠) 直近3か年の平均値	目標値 [B] (タイトル)	3,038	2,789	2,761					
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	89.14	96.34	50.42					
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）									
<p>◆視覚障害者等へのサービスとして対面読書を32回実施した。</p> <p>◆聴覚障害者へのサービスとして、手話で楽しむおはなし会を3回実施（参加延べ人数55人）した。</p> <p>◆デフリンピック開催を前にデフリンピック競技者による読書バリアフリー講演会を1回実施（参加29人）した。</p> <p>◆音訳協力者に対しては外部講師を招いての音訳講習を1回実施（参加延べ人数8人）した。（全4回予定）</p> <p>◇利用者の高齢化による利用の休止が増え、点字・録音図書の貸出は減少傾向にある。このため読書相談や資料案内などを通じて読書要求の拡大に務めている。また、加齢に伴い通常の活字による読書が困難になった高齢者の貸出に占める割合は、新規登録を含めて増える傾向にあり、これらの状況をふまえて引き続きサービスの周知に努める。</p> <p>◇諸サービスについて、利用者の拡大と、録音資料の製作や対面読書を担う音訳協力者の養成が課題である。</p>									
これまでの点検評価員等からの主な意見									
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度						
	市長公約	-							
	実行計画	17_02図書館運営・機能の充実	R6からR7の達成度の推移						
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン							

主要事業の状況

9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円）	予算額 決算額	1,056				
				※人件費を除く						
事業概要（令和7年度の取り組み内容）										
I C Tの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月より「ひらかた電子図書館」を導入している。ウェブ上で電子書籍が読めるサービスで、文字の大きさの変更が可能であり、音声読み上げ機能付きのものもあり、紙の本が読みづらい人でも読書が楽しめる。また、複数人が同時に閲覧可能な児童書の「読み放題パック」を所蔵しており、今後、電子図書館の特性を活かした蔵書も収書していく。なお、「読み放題パック」の購入については、子どもに本を届ける基金の活用を予定している。										
指標	R5年度	R6年度	R7年度							
(実績値の内容) ①電子書籍貸出冊数 ②閲覧回数（回）	実績値 [A] (冊)	①39,410 ②96,891	①41,620 ②188,340	①14,941 ②97,380						
(目標値の根拠) 【R5年度】直近2か年の平均値（R3を12か月換算） 【R6年度】直近3か年の平均値（R3を12か月換算） 【R7年度】直近3か年の平均値	目標値 [B] (冊)	①27,818 ②65,686	①31,682 ②76,088	①37,618 ②121,593						
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	①141.67 ②147.51	①131.37 ②247.53	①39.72 ②80.09						
令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）										
<p>◆子どもに本を届ける基金を活用し、同時に複数人がひとつのタイトルに閲覧できる読み放題パックを151タイトル購入した。</p> <p>◆電子図書館利用統計 ログイン数：38,489回 閲覧回数：97,380回 貸出冊数：14,941冊 予約件数：4,968件</p> <p>◇電子図書の蔵書冊数が少ない点と電子図書館の認知度を高める点が課題である。</p>										
これまでの点検評価員等からの主な意見										
<p>・電子書籍貸出冊数が、さまざまな工夫により、目標値と比べて実績値がかなり大きくなつたことは評価できる。更なる貸出冊数の増加に向けた取組みを進めていただきたい。（R4点検評価員会議）</p> <p>・タブレット端末による「ひらかた電子図書館」利用が可能となり、さらに「読み放題パック」を導入して以降に、小学生の電子図書館利用が多くなつたということがわかつた。今後も、安定的に財源を確保しながら、電子図書館全体はもちろん、特に読み放題パック等児童書を充実させていただき、子どもの利用をさらに拡大するよう要望する。（議会）</p>										
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度							
	市長公約	令和6年度市政運営方針								
	実行計画	17_02図書館運営・機能の充実	R6からR7の達成度の推移							
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン								

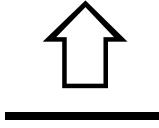
※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

主要事業の状況

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費（千円）	予算額 ※人件費を除く	14,119
				決算額		

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、教育指導課の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援及び学校図書館システムの管理・技術的支援を行うとともに、学校図書館の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援を行う。
- ・子どもの読書習慣の確立や情報活用力の育成をめざし、市立小学校に配置する学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図る。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数	実績値 [A] (冊)	21.84	22.27	10.86
(目標値の根拠) 直近3か年の平均値	目標値 [B] (冊)	22.68	22.53	22.04
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	96.30	98.85	49.27

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆令和7年度は全小学校44校に配置した学校司書25人（うち、2校兼務19人、1校専任6人）と連携しながら、学校図書館整備の支援や学校図書館システムの管理・技術的支援、授業で活用するための資料提供等を行っている。
- ◆令和7年度の学校図書館における児童一人当たりの貸出冊数は、令和6年度と比較すると1.27冊増加している。
- ◆令和6年度に引き続き、市立小学1年生をはじめ令和7年度新規の児童生徒タブレットの端末用アカウントを、ひらかた電子図書館に登録した。また7月より、学校での利用に適した複数人で同時に閲覧できる「児童書読み放題パック」を562タイトルから685タイトルに増やした。
- ◇小学校での学校図書館機能の充実及び児童の読書活動推進のため、学校司書の知識・技術の向上を図る。
- ◇小学校に配置した学校司書と連携しながら、中学校での学校図書館システムの管理・技術的支援を中学校の司書教諭及び図書担当教員に対して行う。

これまでの点検評価員等からの主な意見

- ・子どもたちの1人1台端末への電子図書館のリンクアイコンの追加などは、学校と図書館が連携した子どもたちの読書活動推進の取り組みとして、他市にも誇れるものと考える。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	16_02 子どもの確かな学力の定着を図る		
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-⑪	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
-----	-----------------------	-----	-------

基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」においては、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、子どもたちが安全で自由に過ごすことができる空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します。^{①②}また、子どもたちの夢や将来の可能性を広げるため、地域の特色や活力を生かしながら、3季休業期などに児童の参加・体験型のプログラムを提供していきます。生涯学習市民センターや総合文化芸術センターなどを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます。^③

また、文化財等の適切な保存を進めるとともに、特別史跡百濟寺跡等の貴重な歴史文化遺産について、多くの市民の理解と共感を得て、文化財に関する情報発信を行い、郷土愛が育まれ継承されるよう取り組みを進めます。^{④⑤⑥⑦}

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組むとともに、健康の維持増進を図るために、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます。^{⑧⑨}

令和7年3月に策定する「児童の放課後を豊かにする行動計画」に基づき、子どもの成長に必要な要素として、自由で自主的な子どもの「時間」、安全に自由に遊べる「空間」、異年齢の集団を含む「仲間」の「3間（さんま）」を確保・充実し、遊びや豊かな体験等を通じて、家庭や学校以外の第3の児童の居場所として、全市立小学校で実施している留守家庭児童会室と放課後オープンスクエアを一体とした総合型放課後事業の取り組みを一層強化します。また、小学校入学以降も保護者が安心して就労できる環境の整備を進めるため、児童と保護者のニーズを汲み取った施策についても充実を図ります。^{⑩⑪}

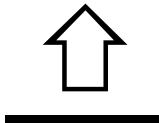
主要事業の状況

10-①	文化財活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	28,733
------	--------------	-----	---------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

総合文化芸術センターなどを活用し、文化芸術に触れるきっかけづくりとなるような魅力的な事業を数多く展開していくことで、市民の文化芸術への興味や関心を育て、文化芸術の裾野を広げることを重点施策としている。特に文化芸術の裾野を広げるための子ども対象の事業については、連携協定を締結している文化芸術団体や劇作家・演出家で芸術文化観光専門職大学学長である平田オリザ氏、枚方ゆかりの若手アーティスト、市教育委員会と連携協力して、子どもたちが感受性の豊かな時期に、等しく文化芸術を体験できる機会や、興味や関心のある子どもたちを育成する事業を総合的に行っていく。

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数/アンケート回答者数) ×1割 ※各事業のアンケート回答者数の約1割を抜粋したもの	実績値 [A] (%)	91.4 (867/949)	96.6 (997/1,032)	年度末に集計予定
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%	目標値 [B] (%)	75.00	75.00	75.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	121.87	128.80	年度末に集計予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆令和8年1月に枚方市文化芸術振興審議会を開催し、進捗を報告する予定である。
- ◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施している。
- ◆劇作家・演出家で兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長である平田オリザ氏との連携事業として、コミュニケーション事業を実施している。
- ◆市立小学校5・6年生を対象に枚方市アーティストバンク登録アーティストを派遣する、アウトリーチ事業を実施している。
- ◆連携協定を締結している、大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業中学校オーケストラ鑑賞事業を2月に実施する予定である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

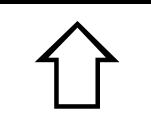
- ・小学校に出向いての生の音楽を鑑賞する機会や、中学1年生がオーケストラ演奏を鑑賞する機会を創出するなど、児童生徒の完成を高める様々な活動が行われており、とても素晴らしい事業だと考える。（R6点検評価員会議）
- ・小学校アウトリーチ事業や中学校オーケストラ鑑賞事業など、家庭の経済状況に関係なく児童・生徒が文化・芸術に触れる機会を創出していることは評価できる。今後も推進していただきたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	17_04文化芸術の推進		
	関連計画	枚方市文化芸術振興計画【改訂版】		

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	39,434
------	-----------	-----	------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。
- ・特別史跡百濟寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施。
- ・楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため草刈りや、清掃点検等保全管理する。
- ・発掘調査により出土した木製の遺物の劣化を防止するための保存科学処理を行う。

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合	実績値 [A] (%)	100.00	100.00	0.00
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※□なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	0.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆文化財用地の草刈りを6月に実施。
- ◆出土した木製品等の遺物について、保存科学処理の実施。
- ◆百濟寺跡見学者用バス駐車場の管理委託を実施。
- ◆楠葉台場跡では、草刈り清掃の定期管理の他、住民からの要望に対応する等、日常管理を行っている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実		
	関連計画	-		

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	340
------	------------	-----	------	--------------------	------------	-----

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円の枚方市文化財保存事業補助金を交付し、市指定文化財の保存管理を支援する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数	実績値 [A] (件)	14	14
(目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数	目標値 [B] (件)	14	14
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆市指定文化財の保存管理を支援するため、建造物の所有者に40,000円（3件）、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円（11件）の枚方市文化財保存事業補助金を交付予定。

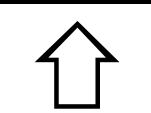
これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	6,179
------	---------------	-----	------	--------------------	------------	-------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- 平成17年度から令和6年度にかけて実施した再整備工事特別史跡百済寺跡の整備報告書を作成する。
- 創建当時の古代寺院を現地で体験できるAR映像を活用するなど観光資源としての魅力を高める。

		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 当該年度の事業進捗割合	実績値 [A] (%)	100.00	100.00	0.00
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	0.00

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆整備事業をまとめた報告書の作成のため、編集業務の委託を実施し、報告書作成に取り組んでいる。
- ◆ARの運用を開始し、現地で見ることができるようになった。

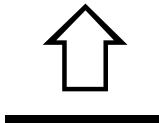
これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	
	市長公約	令和6年度市政運営方針		
	実行計画	19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実	R6からR7の達成度の推移	
	関連計画	-		

10-⑦	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	1,062
------	-------------	-----	------	--------------------	------------	-------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 市史関係の照会および市史資料の利用件数	実績値 [A] (件) 223.00	318.00	152.00
(目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値 R6年度以降は、第3期実行計画における施策指標	目標値 [B] (件) 300	250	260
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) 74.33 ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	127.20	58.46

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆市史関係の照会件数は順調に推移している。

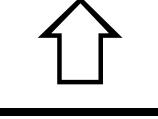
これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実		
	関連計画	-		

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	41,758
------	---------------	-----	---------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

- ・各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。
- ・市内高校バレー大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。
- ・ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。

指標	R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 各大会等の参加者数	実績値 [A] (人)	18,031	19,163
(目標値の根拠) 実行計画と同様に、R1実績22,560人を目指して段階的に設置した数値	目標値 [B] (人)	20,500	21,000
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	87.95	91.25

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆市民のスポーツ振興につながるよう、引き続き、各種スポーツ大会やレクリエーション事業を実施している。
- ◇毎年屋外で実施する大会の開催について、開催時期をはじめ会場や人員の確保等の課題について前年度の実績等を踏まえ検討を行う。

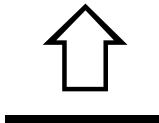
これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	17_04スポーツ活動の推進		
	関連計画	-		

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	10
------	----------	-----	---------	--------------------	------------	----

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人の交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) スポーツ施設利用者数	実績値 [A] (人)	997,854	959,501	年度末集計予定
(目標値の根拠) 実行計画同様に、R1実績1,061,879人を目指して段階的に設置した数値	目標値 [B] (人)	970,000	990,000	1,010,000
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = (B + (B - A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	102.87	96.92	年度末集計予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◇「枚方市スポーツ推進計画（改訂版）」に基づき実施している事業の進捗管理を行い、今後の方向性について点検を行う。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	17_04スポーツ活動の推進		R6からR7の達成度の推移
	関連計画	-		

10-⑩	総合型放課後事業	担当課	放課後子ども課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	1,722,026
------	----------	-----	---------	--------------------	------------	-----------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

児童の放課後の安全な居場所づくりと子育てしやすい環境の整備として、保護者の就労等により保育を必要とする児童の適切な遊びや生活の場を提供する「留守家庭児童会室」とすべての児童が自由にかつ主体的に活動できる放課後の場所である「放課後オープンスクエア」を一体的に運営する「総合型放課後事業」を全校（直営22校・委託22校）で実施している。

令和7年度は、留守家庭児童会室に入室している児童の希望に応じて開室し、土曜日開室の利用実態を検証した上で、土曜日の総合型放課後事業のあり方について検討を進める。また、長期休業期における昼食提供サービスについて試行実施時のシステム活用のノウハウを活かし、弁当事業者の拡大を図り全校実施への取り組みを進める。

指標	R5年度	R6年度	R7年度	
(実績値の内容) 全児童に対する放課後の児童の居場所（放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会室入室児童）の割合	実績値 [A] (%)	50.48	55.56	56.91
(目標値の根拠) 前年度の総合型放課後事業の利用率	目標値 [B] (%)	20.00	50.00	50.00
(めざすべき方向)	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	252.40	111.12	113.82

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

- ◆長期休業期昼食サービスについて、夏季休業期に全44校で試行実施を行った。実施方法や継続可能性を検証するため冬季休業期、春季休業期においても全44校での実施を行っていく。
- ◆令和7年7月から試行的に、留守家庭児童会室利用者の希望に応じて、土曜日の留守家庭児童会室を開室する取組を開始した。
- ◆不審者の抑止や事件・事故の未然防止、児童の性被害防止等を目的とし、留守家庭児童会室施設に防犯カメラの設置を行い、令和7年度中に全44校に設置を行う。
- ◆留守家庭児童会室の待機児童については、令和7年4月1日時点は7名の待機児童が発生していたが7月には解消した。

【総合型放課後事業利用状況】

- ・放課後オーブンスクエア登録児童数（9月現在） 7,684人（登録率40%）
- ・放課後オーブンスクエア参加人数（1日平均） 1,346人
- ・留守家庭児童会室入室児童数（9月現在） 4,186人
- ・留守家・放課後OS併用利用児童数（9月現在） 969人
- ・全児童数（9月1日現在） 19,154人

◇留守家庭児童会室施設の環境改善として、和式トイレの洋式化や男女別トイレの設置等トイレの環境改善に取り組む。また、耐用年数を超えた留守家庭児童会室については、学校施設を最大限に活用することを前提として、今後の児童数等の推移を見極め、専用棟の建て替えも含めた検討を進め、個別の老朽化対策を策定する。

これまでの点検評価員等からの主な意見

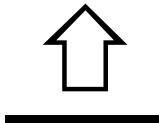
- ・これまで期限内に入室申込みのあった全ての児童を受入れるという方針のもと、臨時定員等を設けて受け入れされてきたということであるが、今後も放課後オーブンスクエアの拡充、職員体制や施設の整備、余裕教室の確保などを通じて、通年で待機児童0をめざして取組んでいただきたい。（R5点検評価員会議）
- ・令和5年度の全校実施から実績値、登録児童数とも増えている。今後も、留守家庭児童会室の土曜開室、三季休業期昼食サービスの全校実施に向けた試行など保護者のニーズをとらえた取り組みと併せて、事業の充実に努めていただきたい。（R7点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	令和7年度市政運営方針		
	実行計画	15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり		
	関連計画	枚方市児童の放課後を豊かにする行動計画		

10-⑪	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	放課後子ども課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額 決算額	31,191
------	-----------------	-----	---------	--------------------	------------	--------

事業概要（令和7年度の取り組み内容）

これから時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。

指標		R5年度	R6年度	R7年度
(実績値の内容) 参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式：満足度の高いアンケート回答者数／アンケート回答者数)	実績値 [A] (%)	88.9	94.1	令和7年11月把握予定
(目標値の根拠) 参加した子どもにおける事業の満足度	目標値 [B] (%)	80.00	80.00	80.00
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%) ※△なら $C = A \div B$ ※▽なら $C = \{B + (B - A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入)	111.12	117.63	令和7年11月実施予定

令和7年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）

◆枚方子どもいきいき広場事業の第1回活動団体代表者会議を7月に開催し、活動報告や取組みについて情報交換を行いました。また、第2回会議も11月に開催予定としています。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	R6からR7の達成度の推移
	市長公約	-		
	実行計画	-		
	関連計画	枚方市児童の放課後を豊かにする行動計画		